

# 2010年度 事業報告書

ANNUAL REPORT



財団法人 東京YMCA

**TOKYO YMCA**

\* 2011年4月1日付で、公益財団法人東京YMCAに移行しました

## 東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

### Mission of The Tokyo YMCA

The Tokyo YMCA carries out activities which contribute to local communities in an attempt to create a just and peaceful world, in the hope that young people can achieve holistic development of their spirits, minds, and bodies, based on the love and spirit of service as exemplified by Jesus Christ.

東京YMCA

# 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ごあいさつ                   | 1  |
| 東京YMCA2010年度運営方針        | 2  |
| 2010年度のあゆみ              | 5  |
| 報 告                     | 8  |
| 会員部                     | 9  |
| 賛助会事務局                  | 10 |
| 国際協力部                   |    |
| コミュニティー事業部              |    |
| 江東コミュニティーセンター           | 11 |
| 山手コミュニティーセンター           | 12 |
| 山手コミュニティーセンター・ウエルネス     | 13 |
| 山手コミュニティーセンター・STEP      | 14 |
| 山手コミュニティーセンター・語 学       | 15 |
| 山手コミュニティーセンター・学 舎       | 16 |
| 山手コミュニティーセンター・杉 並       | 17 |
| l i b y                 | 18 |
| 東陽町コミュニティーセンター・ウエルネス    | 19 |
| 東陽町コミュニティーセンター・東陽町認証保育所 | 20 |
| 南コミュニティーセンター・東京町田YMCA   | 21 |
| 西東京コミュニティーセンター          | 22 |
| チャイルドケアセンター             | 23 |
| 学校事業部                   |    |
| 国際ホテル専門学校               | 24 |
| 社会体育・保育専門学校             | 25 |
| インターナショナルスクール・TYIS      | 26 |
| 東陽町語学教育センター             | 27 |
| 野外教育センター                |    |
| 野尻キャンプ                  | 28 |
| 山中湖センター                 | 29 |
| 妙高高原ロッジ                 | 30 |
| 東雲地域事業部                 |    |
| YMCAキャナルコート保育園          | 31 |
| YMCAオリーブ保育園             | 32 |
| 東雲児童館                   | 33 |
| 東雲学童クラブ                 | 34 |
| 東雲第二学童クラブ               | 35 |
| 東雲第三学童クラブ               | 36 |
| 東雲ファミリーセンター             | 37 |
| 芝浦アイランド                 |    |
| こども園                    | 38 |
| 児童高齢者交流プラザ              | 39 |
| 現 況                     | 40 |
| 2010年度 補助金・助成金によるプログラム  | 43 |
| 協働プログラム                 | 46 |
| 役員・委員                   | 47 |
| 東京YMCAの歴史               | 48 |
| 拠点                      | 50 |

## ごあいさつ

2010年度の東京YMCAの活動が、多くの皆様のお支えの下に行われましたことを御報告申し上げますと共に、お支え下さいました全ての方々に御礼申し上げます。

これもひとえに、理事・常議員・委員ならびに会員・関係者の皆様方が、この一年間力強くご協力下さいましたことと、心より感謝申し上げます。

また今年度も、東京YMCA賛助会が橋本徹会長のもと、大きな働きを担って下さいました。賛助会のご指導のもと午餐会も良い講師をお招きして、実に630回を数えるほどに継続しておりますことも重ねて感謝申し上げます。

2010年度は東京YMCAが1880年に創立して130周年という節目の年でありました。長い年月にわたり、青少年に寄り添い活動を続けていくことができましたこと、又その間に多くの会員のみならず、賛助会をはじめとする企業の皆様に支えられてきたことを思います。まさに人のつながりの中で働きを進めてきた130年と言えましょう。

国際協力活動の面では、2009年にパートナーシップの30周年を迎えたフロストバレーから理事長と総主事の東京YMCAへの表敬訪問を通じて、今後の強力なパートナーシップの確認をすることができました。

前年度に引き続き、事業・財政の健全運営を図ることを目標とした年度でしたが、予定した財政目標の未達成を余儀なくされました。東京YMCAに対する財政面での大きなチャレンジとして受け止めなければならない現状です。財政再建のための新たな計画の策定により、現状を打開すべく改善努力をすすめています。

年度末の3月11日には東日本全体を揺るがす「東日本大震災」が発生いたしました。多くの会員・ボランティアの方々の迅速な動きでいち早く支援物資を現地に届けることができました。また、それに引き続き、石巻市においてワークキャンプを継続的に実施しています。今なお多くの方が困難と悲しみの中にあることを覚えます。神様の慰めが被災者の皆様の上にありますよう祈ります。そして東京YMCAとして、YMCAらしい方法で息の長い復興へ向けての支援活動を継続していきたいと願うものです。それぞれ会員の皆様の力強いお支えを期待いたします。

なお、2006年度より公益法人制度改革タスクチームを茅野委員長のもと立ち上げ、準備を進めてきましたが、3月25日に公益認定通知を受けることができました。皆様のご指導に感謝致します。寄付金控除も備えられた公益財団法人として公益事業を遂行していきますのでお支えをよろしくお願い致します。

財政面での課題は残したものの、2010年度も神様の導きのもと、東京YMCAが多くの働きを進め、皆様と共に歩むことができましたことを深く感謝申し上げ、ここに御報告いたします。

理 事 長 茅野徹郎  
常議員会議長 勝田正佳  
総 主 事 廣田光司

## 財団法人東京Y M C A 2010年度運営方針

2009年度は事業の管理運営を改善し、社会・地域に対する信頼を強めることを目標とした年であった。130年の歴史を刻む2010年度は、キリスト教精神を基盤とする東京Y M C Aの使命を再確認し、世界を見つめ、地域に必要とされる公益財団法人を目指し、たたくまいを整えていきたい。そして、地域社会の中で継続して使命を果たし、その公益性を発揮していくために運営と財政の状況を、中・長期的視野をもって改善していく年としたい。さらに東陽町センター及び周辺を中心にしたY M C Aの働きの充実を図り、協働事業をより良く形作っていくことが求められる。

2010年度を市民社会形成と青少年の健全育成のためにY M C Aがその働きを強めていくための基盤を強化する年とする。

### < 事業計画 >

寄付行為に定めた目的を達成するため事業について以下のとおり計画する。

#### 1 小集団活動を実施する

「共に支えあう相互関係づくり」として小集団活動の手法を用い、青少年育成・野外活動・障がい児・者プログラムをはじめ全ての事業をとおして進展させ、一人ひとりのいのちの大切さを培う。

- (1) 青少年健全育成プログラムを行う
- (2) 障がい児・者へのプログラムを行う
- (3) 居場所プログラムを実施し、一人ひとりのいのちを大切にする

#### 2 体育、レクリエーション、キャンプ、野外活動等を実施する

幼児・青少年の心身共なる成長、及び、成人・高齢者の健康増進と維持を願って、体育、レクリエーション、キャンプ、野外活動等を実施し、より良い生き方、生活を築くウェルネスプログラムを推進する。

- (1) 幼児、青少年への体育プログラムを行い、生涯に亘って運動・スポーツを親しむ基礎を養う
- (2) 成人の健康増進を図るプログラムを展開する
- (3) 高齢者介護予防プログラムを展開する

#### 3 語学、職能教育を実施する

国際理解推進の基盤として語学教育を位置づけると共に、幼少よりの語学教育事業を強化する。また専門学校は質の高い指導を行い、社会に必要とされる人間を育成

する。

- ( 1 ) 語学教育を行い、国際理解の基を築く
- ( 2 ) インターナショナルスクールを運営する
- ( 3 ) 専門学校を運営する( ホテル工育成、社会体育並びに保育専門従事者の育成)

#### **4 講座、講習会、研修会等を開催する**

時代状況を読み取り、地域・国際社会の課題を見出して、啓発的な講座、講習会、研修会等の事業を実施する。

- ( 1 ) 国際理解講座、ボランティアコーディネーター養成講座、市民講座、環境教育プログラムを行う

#### **5 国際交流等の活動を実施する**

国際青少年団体として、各国Y M C Aとのパートナーシップを発展させ、また、国際交流を進展させ、国際化に適う青少年育成を図る。同時に、国内では在日外国人生活支援活動を行う。

- ( 1 ) パートナーシッププログラムを検証し、発展させる  
( フロストバレー・バングラデシュ・北京・ハワイ島・ソウル)
- ( 2 ) 青少年の国際交流を進展させる
- ( 3 ) 在日外国人支援として生活情報を提供する

#### **6 社会奉仕活動を実施する**

地域社会ネットワークの一員としてコミュニティ形成を担い、社会において弱い立場に立たせられている人々と共に生きるための活動を行う。

- ( 1 ) ボランティアによる活動を推進する
- ( 2 ) 地域社会との協働活動を行う
- ( 3 ) 地域ネットワークの一員としての役割を担う

#### **7 幼児教育を実施する**

子どものいのちを育む幼児教育活動を、保護者・地域の人々と共に展開する。

- ( 1 ) チャイルドケア事業を運営する
- ( 2 ) 乳幼児保育事業を運営する
- ( 3 ) 子育て支援プログラムを行う
- ( 4 ) 児童館・学童保育の運営を行う

#### **8 教育施設を提供する**

野外教育プログラムの実践をとおした青少年育成の場とし、指導・プログラム・施設提供を行う。

- ( 1 ) 諸団体の野外環境教育プログラムへの施設提供を行う
- ( 2 ) NPO、国際協力団体への施設提供を行う

## 9 その他目的を達成するために必要なことを実施する

寄付行為における8事業の他、目的を達成するための事業を展開する。

特に、Y M C Aの行う多くの奉仕活動や事業支援を、Y M C A使命に賛同する会員（個人・法人団体）を中心とする協力者と共に展開し、事業支援のためのファンド形成を行う。

- (1) 奉仕者としての会員を中心とする地域奉仕・交流活動を行う
- (2) 公益性事業進展のため国際協力基金、奨学基金、そしてフレンドシップファンドなどを強化していく

## < 重点事項 >

### 1 公益法人としての働きを展開する

- a. 新法による公益財団法人としての認定を目指す。
- b. 東陽町地域における公益活動展開のために東陽町センターを有効に活用する。
- c. 公益活動推進のため寄付金等を受ける。
- d. 東雲地域における新たな展開を図るための準備の年とする。

### 2 市民社会の形成に関わり、青少年健全育成を図る

- a. 市民社会の形成のために会員の増強を図る。
- b. Y M C A運動のリーダーシップ養成を図る。
- c. 市民社会形成のため目的を共有する団体との連携を深め、積極的な活動を行う。
- d. 青少年健全育成に寄与するためのさまざまな機会を設ける。

### 3 継続可能な組織づくりと共に安定した事業運営を行う

- a. 東京Y M C Aの働きが発展的に展開できるよう中・長期計画を策定する。
- b. チャイルドケア事業を充実させるために、指導者の育成を図る。
- c. 健全な財政運営に努める。
- d. 地域社会に応える事業を開拓する。

## 2010年度のあゆみ

4月6日 フロストバレーYMCA より Fenn Putman 理事長と Jerry Huncosky 総主事夫妻が来日。今後のパートナーシップ活動について打合せをし、山中湖センターなどを視察した。4月7日には、理事会、国際委員会、パートナーシップ委員会による歓迎夕食会が持たれた。

4月8日 「第20回チャリティーゴルフ大会」を総成カントリークラブで開催。約90名が参加した。益金は障がい児プログラム、会員活動、国際協力活動などに用いられた。

4月24日 「第13回東日本地区YMCA理事・常議員・総主事研修会」が、とちぎYMCAの主管により、東陽町センターで開催され、70名が参加した。「これからのYMCA活動について - Y。事業デザインの構築を」と題して坂口順治氏(本会名誉会員)に基調講演をいただいた。

4月29日 高石ともや氏による「バングラデシュ奨学基金チャリティーコンサート」が日本キリスト教団浅草教会で行われ、益金より20万円のご寄付をいただいた。

5月23～28日 東陽町センターを会場に「会員芸術祭」を開催。会員を中心に53名が、絵画や彫刻などの作品59点を展覧した。初日にはオープニングセレモニーを行い、講評や出展者との交流の時がもたれた。

5月29日 東京YMCA創立130周年記念感謝礼拝と式典が行われ、150人の会員・関係者が集った。会場は、東京YMCA発会の地に近い日本キリスト教団銀座教会にて開催した。『東京YMCA130年の歩み』(齊藤實著)が刊行され、これまでの歩みに学び、感謝と誇りを共有した。



5月29日 「第8回会員大会」が東陽町センターにて開催され、143人の会員が出席した。大会では、前年度の会員部活動報告や会員部運営委員の選出を行い、Volunteer of the yearには会員の青鹿博明氏、太田太氏が、また、Youth volunteer of the yearには各コミュニティセンターから推薦された6名のボランティアリーダーが受賞した。名誉会員には森井利夫氏が推挙された。

5月29日～6月3日 北京YMCAのスタッフ9名が来日し、水泳指導などについての研修を受けた。6月1日には、国際委員、パートナーシップ委員などによる歓迎夕食会が開かれた。

6月29日 バーンズ亀山静子氏(ニューヨークスクールサイコロジスト/東京・フロストバレーYMCAパートナーシップ現地委員)を講師に迎え、発達障がい児・者プログラムのボランティアリーダーを対象としたトレーニング「発達障がい児・者の理解」を行った。35名の参加があった。

7月14日 「賛助会年会・アドバイザー会」を東陽町センターで開催し、法人会員、アドバイザー、役員、運営委員、職員が出席。今年度は12の法人が永年継続法人として表彰された。

## 2010年度のあゆみ

7月19日～24日 「第17回世界YMCA大会」が香港で開催され、「いま、地球市民として生きるために」をテーマに、世界85カ国から1134人が集まり、協議や交流をした。東京YMCAからは、常議員の笈川光郎夫妻、山本和夫妻、職員の高谷川博子が参加した。



8月16日～24日 東京 北京YMCAパートナーシップの一環として、社会体育・保育専門学校の学生2名と講師1名が北京YMCAを訪問し、水泳指導などの実習を行った。

8月16日～21日 ソウルにて「キッズ・ワールドカップ・イン韓国」が開催され、北京・香港・シンガポール・韓国・日本の5カ国のYMCAから100人が参加した。東京YMCAからは7人のメンバーが参加し、交流を深めた。

8月28日 東陽町センターで「夏まつり」(会員部)を開催し、約750名が来場した。ワイズメンズクラブや職員による模擬店、バンド演奏、抽選会など、会員と地域の人々の交流の場となった。

9月4日 渋谷駅周辺で「国際協力一斉街頭募金」を行った。会員や学生、各センターの子どもたち、ワイズメン、委員、職員など約300名が募金を呼びかけ、299,798円が寄せられた。



9月23日 「第24回国際チャリティラン」を代々木公園で実施した。84チーム504人が参加したほか、254人のボランティアが活躍した。また多数の企業・団体より協賛や協力をいただいた。益金は東京YMCA 障がい児支援プログラムのために用いられる。

9月25日 大地震等を想定した「首都圏統一帰宅困難者対応訓練」が行われ、東京YMCAの会員、スタッフ、ワイズメンズクラブがエイドステーションの運営や徒歩訓練等にボランティアとして協力した。主催した「東京災害ボランティアネットワーク」は、山崎美貴子氏(常議員)と廣田光司総主事が共同代表を務める。

11月6日 「第5回教育シンポジウム」を東陽町センターで行った。「あなたの『愛』は子どもに伝わっていますか」というテーマで、ヘネシー澄子氏(東京社会福祉大学名誉教授)に講演いただき、約100名が参加した。

11月10日～12日 第16回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会(S.T.T.)が東京YMCA東陽町センターを会場に行われた。ソウルYMCAから11名、台北YMCAより11名、東京YMCAより17名が参加し、情報交換を行い、交流を深めた。

## 2010年度のあゆみ

11月12日 「第2回災害ワークショップ」が東陽町センターで開催された。「阪神・淡路大震災の体験に学ぶ」をテーマに、神戸YMCA 職員や江東ワイズメンから発題があり、YMCA が担うべき役割について考えた。

11月18日 東京YWCA、在日本韓国YMCA と合同で、「YMCA・YWCA 合同祈禱会」を開催し、約60名が参加した。会場は在日本韓国YMCA。今年のテーマは『女性が創りだす安全な世界』。石井摩耶子氏（恵泉女学園大学名誉教授）にメッセージをいただいた。

11月27日 妙高高原ロッジ開設25周年感謝会が妙高高原ロッジで行われた。縁のある46人が集まり、過ぎし日々を感謝し、今後の歩みに期待が寄せられた。記念礼拝では、県町教会・多田裕志牧師より奨励をいただいた。

12月17日 「3法人合同クリスマス礼拝・祝会」が、東陽町センターにて開催され、役員・委員31名が出席した。久山庫平牧師（日本キリスト教団河辺伝道所）に礼拝説教をいただいた。併せて、故尾崎一政理事の追悼会を開催した。

12月21日 「職員クリスマス礼拝・祝会」を東陽町センターで行い、約80名の職員が出席した。礼拝では李明生牧師（日本ルーテル三鷹教会）に奨励をいただいた。

1月より、江東区児童・高齢者総合施設「グランチャ東雲」の開設準備室を開設した。4月からの運営開始に向けて準備を開始した。

3月11日に起きた東日本大震災の復興救援のため、各センターにて募金活動を行ったほか、ワイズメンズクラブと共同し救援物資400箱を現地へ届けた。また石巻市へボランティアを派遣し、汚泥処理などのワークキャンプを実施した。茨城YMCAが行った、つくば市避難所でのレクリエーション活動には、スタッフ、ボランティアリーダー約30名を送った。



3月25日 2010年9月30日に申請を行った公益財団法人認定申請について認定通知を受けた。これにより、2011年4月からは「公益財団法人東京YMCA」へ移行することとなった。

## 会 員 部

### 総 括

2010年度は東京YMCAの中長期計画策定を見据え、また公益法人制度改革の変化に対応すべく、組織づくりに励んだ一年であった。

年度初めよりスタッフ体制も整い着実な歩みを進めたが、ソシアスフォーラム、会員ソフトボール大会は、残念ながら天候不順のために中止となった。

また、今年度は寄付文化の構築を目指して、FDタスクなどによって様々な仕組みを研究し、2011年度へと繋げた一年でもあった。

### 特筆すべきプログラム

・第24回チャリティーランは、前回の参加チーム激減を挽回すべく、2010年1月より参加チームの募集に動き、結果的には84チームの参加を得ることができた。次年度は開催場所を木場公園に移すことになったが、江東地域の賛助企業を開拓するために、様々なネットワークづくりを始めている。

・ここ数年間は毎年会員数が減少の傾向にあったが、844名とやっと歯止めがかかることになった。銀座ワイズメンズクラブのメンバーの加入などが大きな要因であるが、公益財団法人の取得を契機とし、新年度も会員増強の仕組みを研究し、1000名の目標をまずはクリアーしていきたい。

### 2010年度のあゆみ

- 4月 8日 第20回チャリティーゴルフ大会
- 5月23～28日 会員週間芸術祭
- 5月29日 第8回会員大会
- 8月28日 夏まつり
- 9月23日 第24回インターナショナル・チャリティーラン
- 9月25日 帰宅困難者対応訓練  
(昼食エイドステーション担当)



- 10月13日 日本YMCA同盟表彰伝達式
- 11月 6日 第5回教育シンポジウム
- 1月 8日 在京ワイズメンズクラブ会長会
- 2月 19日 第12回懸賞論文表彰式  
(財団法人愛恵福祉支援財団主催)
- 3月 24日 東日本大震災街頭募金
- 3月26～27日 涌谷、石巻市訪問  
(東日本大震災の救援活動調査)
- 3月 30日 東日本大震災街頭募金  
(三菱商事ボランティアと協働)



## 賛助会事務局

---

### 総括

経済状況は依然として不透明なところがあるが、今年度も多くの賛助会員からご支援をいただいた。また、年間を通して開催されるチャリティーゴルフ大会、会員大会、夏まつり、チャリティーラン、教育シンポジウム、各コミュニティセンターのバザー等にも、多くの献品が寄せられ、物心両面から支えられた一年であった。

### 特筆すべきプログラム

7月15日に東京YMCA賛助会年会・アドバイザー会を開催し、賛助企業16社、理事・常議員・アドバイザー16名に出席をいただいた。

席上で継続会員7社に、橋本徹賛助会長より感謝状が手渡された。2部では「北米の寄付文化へのアプローチ」というテーマで報告の時間が持たれた。

### 2010年度のあゆみ

4月23日 第619回午餐会

「韓国併合100年」

(東京大学准教授 月脚 達彦氏)

5月20日 第620回午餐会

「人のつながり・地域の課題」

(元平安女学院大学学長 坂口 順治氏)

6月23日 第621回午餐会

「ミツバチ目線で見た銀座の世界」

(銀座ミツバチプロジェクト 田中淳夫氏)

7月22日 第622回午餐会

「旧制高等学校における教育について」

(元「日本の教育を進める会」

岸保 芳郎氏)

8月23日 第623回午餐会

「愛と感謝に生きた神谷美恵子先生」

(国連NPO国内婦人委員長

江尻 美穂子氏)

9月24日 第624回午餐会

「患者とともに生きる医療」

(三井記念病院院長 高本 眞一氏)

10月25日 第625回午餐会

「日本の神と酒」

(小澤酒造社長 小澤 順一郎氏)

11月22日 第626回午餐会

「人生の終章で私が思うこと」

(岡本国際問題研究所所長 岡本 豊氏)

12月19日 第627回午餐会

「ひとりじゃないよ」

(早稲田教会牧師 古賀 博氏)

1月25日 第628回午餐会

「映画の世界に生きる」

(合同制作社社長 富田 鈺次氏)

2月21日 第629回午餐会

「市民社会、福祉、キリスト教」

(東京基督教大学教授 稲垣 久和氏)

## 国際協力部

### 総 括

・今年度は各国パートナーシップの関係強化が図られた。フロストバレーからは理事長ならびに総主事が来日し、親交を深めた。北京Y M C Aからはスタッフが9名来日し、水泳指導などの研修を受け、東京Y M C Aからは社会体育・保育専門学校の講師と実習生を派遣した。ソウルではキッズワールドカップが開催され、7名の子どもたちがサッカーを通じて友情を育んだ。バングラデシュには、青年6名がスタディーツアーに派遣された。彼らは将来東京Y M C Aの国際事業をともに担う人材として期待されている。パートナーシップは東京Y M C Aの国際事業の柱である。互いに顔の見える交流を活発にすることにより国や民族を超えた真の協力・協働のあり方を確立したい。

・2年に1回開催されるS T T (Seoul Taipei Tokyo Leaders Consultation) が東京Y M C Aを会場に開催され、基調講演に駒澤大学の萩原建次郎教授を招いて青少年問題をともに考え旧交を温めることができた。

・前年度から引き続きチリ地震支援、今年度はパキスタンの洪水被災地支援、ニュージーランドの大地震支援募金を行った。

・例年開催されているフロストバレーでの夏、冬、春の各キャンプには元気なユース・リーダーを多数派遣しているが、今年度からスタートしたインターンシップ(1年間滞在)には1名のリーダーが参加した。

### 特筆すべきプログラム

・ダイナミックサマー・フロストバレーサマーキャンプは、今年度は定員の20名と好調だった。

・9月4日、渋谷駅周辺で国際協力一斉街頭募金を行い、約320名が参加。約30万円の募金が寄せられた。

・フロストバレーY M C Aサマー及びスキーキャンプリーダーへ8名、中国四川地震ワークキャンプへ1名、東ティモール・ユースキャンプへ1名のユースを派遣した。

・ウクライナY M C AとハワイY M C Aと、子どもたちが作成したクリスマスカードの交換プログラムを継続して実施した。



### 2010年度のあゆみ

4月6～18日

フロストバレーY M C A  
理事長・総主事夫妻来訪

4月9日

中国西安Y M C A来訪

4月29日

高石ともやチャリティーコンサート

5月21日

明治安田生命「愛と平和のチャリティーコンサート」

5月29日～6月3日

北京Y M C Aスタッフ研修受入

8月5～23日

ダイナミックサマー・フロストバレーサマーキャンプ in NY

8月16～21日

東京 ソウルY M C A  
キッズワールドカップ

9月4日

国際協力一斉街頭募金

11月10～12日

S T T (ソウル・台北・東京Y M C A指導者協議会)開催

12月4日

国際部クリスマス祝会

2月5日

チョトショブノ、バングラデシュ現地視察報告会

2月22日～3月7日

バングラデシュ視察・スタディーツアー



## 江東コミュニティーセンター

---

### 総括

昨年に引き続き、江東 YMCA 幼稚園や東京江東ワイズメンズクラブと連携をはかりながら、地域活動や会員活動の展開ができた。5月に行われた「江東親睦会」では約700人、さらに「江東バザー」では約2000人の来場者を集めた。これらの運営については「新しいリーダーシップの発掘」をテーマに掲げ、館内ポスターやチラシ等で「応援ボランティアの募集」を呼びかけ、常に「担い手会員」への導きを行った。

国際協力街頭募金やインターナショナル・チャリティーランへも、幼稚園・ワイズメンズクラブ・コミュニティーセンターが一丸となって取り組むことができた。

### 特筆すべきプログラム

- ・会館周辺の花植えや花壇の手入れを行う「ガーデニングボランティア」のグループが定着し、定期的に活動が行われた。
- ・昨年スタートした「絵本や本の修理」講習会を今年も行い、活動が定着した。
- ・インターナショナル・チャリティーランでは昨年に引続き3チームが江東チームとして参加した。参加費は江東 YMCA 幼稚園保護者会、ワイズメンズクラブ、館内募金にて協力を促し、さらに応援Tシャツを作成し充当した。このことによりチャリティーランへの理解がさらに深まった。

### 2010年度のあゆみ

- 5月 8日 深川八ヶ町子ども運動会・事務局
- 5月 15日 江東親睦会
- 9月 23日 インターナショナル・チャリティーラン江東3チーム参加



- 11月 3日 江東バザー
- 11月 21日 2010年度第1回ワイズサッカー杯
- 12月 11日 子どもクリスマス&大人クリスマス
- 2月 6日 ピアノ教室発表会
- 2月 20日 2010年度第2回ワイズサッカー杯
- 2月 26日 国際協力街頭募金（錦糸町駅前）

## 山手コミュニティーセンター

### 総括

2010年度も東京YMCAミッションを基軸に、山手会館内の各部門との連携を強化しながら、多様なプログラム運営を行った。

通年プログラムやシーズンプログラムにおいては、山手コミュニティースタッフが各部門プログラムや野外教育センター（山中湖センター、野尻キャンプ、妙高高原ロッジ）をサポートした。事業部門を横断的に行き来し総合力を高めた。



『ニュースレター』を年間3回発行し情報発信のツールとした。秋のバザーは企業から多数の献品をいただいたほか、ワイズメンズクラブや会員、リーダーなど多くの方たちのお力添えのもと、昨年を上回る収益を得ることができた。

クリスマス会は、早稲田教会の韓牧師をお迎えし、山手コミュニティーセンターに関わる、たくさんの老若男女が集いアットホームな雰囲気の中行なわれた。

地域活動として、本年度5年目となる地域協力プログラム『わくわくサロン』は、年間で約300人余りが参加した。会員と地域住民とが協力しあい、憩う場として定着している。

春のプログラム(スキーキャンプ、スクール)は東日本大震災の影響もあり中止とした。つくば市の避難所(茨城YMCAが支援)にスタッフ、リーダーを派遣し、子どもたちが安心して楽しく過ごせる時間を提供した。

### 特筆すべきプログラム

- ・定例野外活動のボランティアリーダーを中心に、宿泊を兼ねた特別リーダー会を2月に実施した。
- ・聖路加国際病院との協働キャンプの研修会(日本YMCA同盟主催)が米国フロストバレーYMCAで行われ、コーディネーターとしてスタッフを派遣した。

### 2010年度のあゆみ

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 4月1～3日      | スプリングスクール           |
| 4月11日       | 定例野外活動体験会           |
| 6月12日       | 夏プログラム参加希望者説明会      |
| 7月21日～8月25日 | 夏季シーズンプログラム         |
| 9月14日～24日   | 跡見学園女子大学<br>インターン受入 |
| 10月17日      | 山手会館バザー             |
| 11月3日       | リーダー親睦会(スポーツ大会)     |
| 12月5日       | 山手会館クリスマス親睦会        |
| 12月26日～1月6日 | 冬季シーズンプログラム         |



- |          |            |
|----------|------------|
| 2月11～13日 | 週末スキーキャンプ  |
| 2月21～22日 | 特別1泊リーダー会  |
| 3月6日     | 卒業リーダーを送る会 |

# 山手コミュニティーセンター・ウエルネス

## 総括

まずは事故も怪我もなく 2010 年度を終えたことに感謝したい。東日本大震災当日は幼児クラスの最中であったが、指導者が落ち着いて誘導し安全を確保できた。今年度は特別プログラムにも力を入れ、YMCA への帰属意識を高めることに力を注いだ。前半はファミリー向けの「水中運動会」「父親参観日」「サマー親子スイミング」「父と子のデイキャンプ」など行った。また、山手センター独自で「スイムフェスティバル」を行い、東日本大会、全国大会へとステップアップを試みた。スタッフ研修では年間を通じて毎週勉強会を開き、指導理論の点検を行い、他のスポーツクラブを訪問し S W O T 分析を行った。年度末には退会防止策として「YMCA っ子キャンペーン」を展開。様々なイベントを企画し、冬場に多く出る退会者の防止策として効果があった。山手の良さは保護者やメンバーとの距離が近いことにある。スタッフ事務所がロビーに隣接していることもあり、気安く声を掛け合う環境にある。今後もこの見通し、風通しの良い環境で丁寧な対応を心がけていきたい。

## 特筆すべきプログラム

- ・シーズンプログラムではプールスクール、3 DAYS スクール、短期水泳教室、短期体操教室、成人クラス、特別支援クラスにキャンセル待ちをしている方へのプログラムを行った。
- ・大切な命を水の事故から守るウォーターセーフティキャンペーンを今年も行い、その大切さをメンバーに伝えた。
- ・父と子のキャンプでは、東山荘スタッフの協力により富士山登頂を行った。

## 2010年度のあゆみ

|            |                          |
|------------|--------------------------|
| 4月1～3日     | 3 DAYS スクール              |
| 4月27日～     | 体験キャンペーン                 |
| 5月16日      | ファミリー運動会                 |
| 6月13日      | 父親参観日                    |
| 7月9～15日    | 水上安全週間                   |
| 7月16～8月26日 | 夏季プログラム                  |
| 7月17～19日   | 父と子のキャンプ                 |
| 7月21～8月4日  | 調布市臨海学校                  |
| 8月6～10日    | 渋谷区ぜんそく児キャンプ             |
| 8月9～11日    | 水泳合宿                     |
| 9月27～29日   | ウエルネス推進会議研修会             |
| 11月3日      | スイムフェスティバル               |
| 11月14日     | 父と子のデイキャンプ               |
| 12月6日      | 子どもクリスマス会                |
| 2月11日      | 東日本 Y M C A<br>少年少女水泳交歓会 |
| 3月19日      | プール体験会                   |



## 山手コミュニティーセンター・STEP

---

### 総括

2010年度は、保育時間および延長時間の見直しを行なった結果、保護者に対して利用しやすい環境が設定出来た。それに伴い最終的には定員を越す人数が確保出来た。

保育環境を充実させるべく保護者の協力をいただき、様々な行事をとおして保育士・保護者との関係を築き信頼関係を深めることも出来た。

新宿区からの、職員研修費・防災防犯用具等購入費の補助金を得て保育士の研修および保育環境の充実が図られた。

東日本大震災当日は午睡の最中であったが、保育士らの落ち着いた行動で子どもたちを避難させ、安全を確保できた。

### 特筆すべきプログラム

毎年行っている国際ホテル専門学校からの実習生受け入れも安定し、保護者からも良い評価を受けている。また、跡見学園女子大学からもインターン生を受け入れ、短い期間ながら、良い働きをしていただいた。

定例のプログラムとして、毎月のお誕生会や避難訓練、身体測定も実施した。保育時間内に語学教育センターの協力を得て英語のレッスンを行っている。園児たちも英語の時間を楽しみに待ち、また保護者からも良い評価を受けている。

### 2010年度のあゆみ

|          |        |
|----------|--------|
| 4月 1日    | 新年度の集い |
| 5月 13日   | 春の健康診断 |
| 5月 22日   | 春の親子遠足 |
| 6月 1日～8日 | 個人面談   |
| 10月 2日   | 秋の親子遠足 |



|            |          |
|------------|----------|
| 10月 6日     | 参観日      |
| 10月 17日    | 山手バザー出店  |
| 11月 8日～12日 | 個人面談     |
| 11月 18日    | 秋の健康診断   |
| 11月 19日    | 収穫感謝祭    |
| 12月 11日    | 親子クリスマス会 |
| 2月 3日      | まめまき     |
| 2月 6日～10日  | 保育懇談会    |
| 3月 5日      | 成長を祝う会   |



## 山手コミュニティーセンター・語学

### 総括

2010年度は、新規受講生の獲得と登録者の継続を目指し、子どもクラス保護者への丁寧な対応や、キャッチアップクラスの実施など、サービスの向上を心がけた。秋に行った新入会キャンペーンは、通常2回までの無料クラス体験を3回までとした。

季節プログラムでは、子どもが英語を好きになるよう多方面から働きかけるプログラムを展開し、夏には多くの子どもたちが参加した。7月に「英語が好きになるキャンプ」(オリンピックセンター) 6月、11月、2月には「ビッグディアウト」を実施し様々なアクティビティをとおして英語を話し、聞き「生きた英語」に触れる環境を整えた。外国人講師と寝食を共にすることで英語をより身近に感じ、異文化を自然と受け入れられる場となった。

季節プログラム参加者がレギュラークラスへ移行してくる傾向も見られる。季節プログラムと並行してレギュラークラスで安定した生徒数を確保していきたい。

韓国語はスタイルを変え、シリーズプログラムとして実施した。また日本語も小さい規模ながらもコンスタントに開講できた。

### 特筆すべきプログラム

・7月19日~20日で「わいわいタウン」(英語キャンプ)を実施。(オリンピックセンター)

・6月、1月に児童英検を実施した。効果測定の良い機会となった。

・子どもクラスハロウィンパーティーでは地域の子どもたちにも異文化に触れてもらえるよう安価で実施。62名の参加があった。

・6月、11月、2月に語学クラスの受講生とプログラム参加者へ向けてビッグディアウトを実施。英語講師と一日郊外へ出かけることにより英語がより身近となるよう工夫した。

・2月、3月は次年度に向け、モデルレッスン、体験を随時行った。

・11月に TOEIC IP テストを実施した。



### 2010年度のあゆみ

- 4月 5日 春期開講
- 6月 6日 ビッグディアウト  
(山手センター)
- 6月14~25日 春期コーヒーブレイク
- 6月21、27日 児童英検
- 7月19~20日 わいわいタウン
- 7月~8月 夏期子どもプログラム
- 10月 8日 秋期開講
- 10月30日 ハロウィンパーティー
- 11月14日 ビッグディアウト  
(上野動物園)
- 11月24日、27日  
TOEIC IPテスト
- 11月24~30日  
秋期コーヒーブレイク
- 12月9~15日 クリスマスパーティー
- 12月23日 クリスマスファン!
- 1月 29日~ 保護者面談
- 1月31日・2月6日 児童英検
- 2月27日 ビッグディアウト(科学技術館)
- 3月21日 スプリングファン!

## 山手コミュニティーセンター・学舎

### 総括

YMCAの重要な運動の一つである「山手学舎」は、キリスト教主義に基づく大学生寮として1954年に設立され、これまでに210名を超える様々な人材を輩出してきた。ここでは、単なる寮生活ではなく、学生自身で自治運営をしている。人との関わりが希薄な現代社会において経験しにくい共同生活の場（基本は相部屋）があり、夢や希望を持った若者が勉学に励み、また、YMCAのボランティア活動にも参加する。

2010年度は14名の舎生が在籍したが、2名が海外留学のため途中退舎をした。施設面では、ウォシュレットの設置、カーペットの張替え、洗濯機の交換、TVの地デジ化を行なった。施設整備も含め、今年度も山手学舎OB会、そして、山手学舎後援会が運営を支えてくださった。また、東京山手ワイズメンズクラブからも援助をいただいた。多くの方のサポートを実感し、感謝しながら寮生活を過ごしている。

### 特筆すべきプログラム

・毎月一回「舎生懇談会」を実施。共同生活をしていく中での共通理解や、行事の確認、自由討論、また親睦を深めていく時間も設けている。

・毎月一回「聖書研究会」を実施。2010年度は日本キリスト教団早稲田教会の韓牧師に担当していただいた。

・近隣の信愛学舎、友愛学舎と山手学舎で交流を深める行事「三学舎交流会」を例年どおり実施。スポーツ大会で体を動かしたあと親睦会を開催した。

・新入舎生との交流を深める大イベントである「学舎旅行」は、西伊豆にある廃校を利用して実施した。

### 2010年度のあゆみ

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 4月 24日   | 入舎式                  |
| 5月 9日    | 三学舎交流会               |
| 5月23～24日 | 学舎旅行                 |
| 9月 4日    | 国際協力街頭募金活動           |
| 9月 23日   | インターナショナル・チャリティーラン参加 |
| 10月17日   | 山手センターバザー参加          |
| 11月27日   | 後援会総会・OB総会           |



|        |                     |
|--------|---------------------|
| 12月 5日 | クリスマス祝会             |
| 12月18日 | 忘年会<br>(古賀公一牧師を招いて) |
| 3月 27日 | 退舎式                 |



## 山手コミュニティセンター・杉並

---

### 総括

杉並センターは、現在は建物としての拠点は持たないが、会員の熱意により、会員主体のセンターとして地道に活動を継続している。現在、各センターで行われている軽度発達障害児対象のプログラムは杉並センターから始まったものである。その歴史を振り返る講話を東京西ワイズメンズクラブの例会で行ったが、杉並センターに関わってこられた会員の方々も多く集まり、バザー、クリスマス会などのプログラムが会員によって運営され、マネジメントされていることを改めて確認できた年となった。現在は杉並バザーの収益金は山手センターのLD児プログラムに寄付されている。

「WHO」(ウォーキング・ホリデイ・荻窪)はこれまで100回以上開催。月に一回、都内近郊をゆっくりと歩くプログラムである。杉並センターの会員を中心に、下見から当日の運営まで年に10回は開催され、新規参加者の方々も多く集めるプログラムとなっている。ひだまり体操クラブ、妙正寺フィットネスなどの活動も継続され、こうした活動を会員による熱意で継続出来ているのは、杉並YMCAが如何に地域に根付いた活動を展開していたかを、あらためて実感できる年であった。

### 2010年度のおゆみ

12月 5日 杉並YMCAバザー  
12月16日 杉並クリスマス

- ・ 妙正寺フィットネス(毎週木曜日)
- ・ ひだまり体操クラブ
- ・ WHO(ウォーキング・ホリデイ・荻窪)  
毎月1回

# liby

---

## 総括

創設から12年目となった2010年度は、新たなスタッフ体制でスタートした。体制が変わっても、変わらずに「let it be」の価値を大切に、迷いや悩みをかかえながらも、強靱な体制作りを目指した。フリースペース事業の充実のため、富士ゼロックス東京株式会社からご支援をいただき、機関紙をカラーで年4回発行した。また、2011年度から、新宿勤労者・仕事支援センターより「URA-liby」の活動が助成を受けることとなったほか、新たな事業として「クラブliby」の助成を東京ボランティア・市民活動センターから受けることが決定した。

新規車両購入として東京都生命保険協会から助成金150万円、本田技研工業株式会社から寄附金60万円をいただいた。libyに集うメンバーの活動範囲が飛躍的に広がった。

## 特筆すべきプログラム

\*連続講座「今の子ども・若者に何が起きているのか？」

liby工房(ファブリーク)は、libyで日々出会う子どもや若者とおして見えてくる今のこの時代を生きる「子ども・若者たち」と、彼ら・彼女らを取り巻く「今」という時代について、医療・教育・心理の3つの視点からなる連続講座をおして、多くの人に知ってもらう機会を作った。

第1回 12月4日 浜田 寿美男  
(奈良女子大 教授)

第2回 1月15日 中島 浩篤  
(liby運営委員 法政大学・河合塾  
COSMO 講師)

第3回 2月11日 石川 憲彦  
(liby運営委員林試の森クリニック院長)

\*libyチャリティーコンサート

12年目となるlibyの支援目的のチャリティーコンサートには、300名近い方が参加くださり、多くの方に支えられていることを実感した。次年度は、チャリティーバザーの実施や寄附広報の充実なども試みたい。

## 2010年度のあゆみ

- 4月8日 2010年度liby開室日  
5月14日 liby保護者会  
6月22日 講座「楽しい子育て」  
講師 大沼 謙一氏  
(セントラルウィズとの共催)  
7月26～31日 ワンダー デイトリップ  
8月6～9日  
小野川アドベンチャーキャンプ  
12月26日～29日  
湯沢ウィンターキャンプ  
12月4日 内閣府主催特別企画へ出席  
「不登校、ひきこもりへの支援を語る」  
2月14～18日  
三菱東京UFJ 新任研修受け入れ  
3月5日 第12回チャリティーコンサート  
\*連続講座  
「今若者に何が起きているのか？」  
12月4日 浜田寿美男氏(奈良女子大教授)  
1月15日 中島浩篤氏(河合塾 COSMO 講師)  
2月11日 石川憲彦氏(林試の森クリニック院長)



## 東陽町コミュニティーセンター・ウエルネス

### 総括

少年クラスは昨年に比べ、多少ではあるが増加傾向にある。一方、成人メンバーについては、上半期は減少傾向にあったが下半期はプログラムの改廃により減少は止まり、わずかな増加傾向が見られた。また講習会はテニス、スカッシュは増加したが、水泳クラスが落ち込み、全体では減少している。

4月よりメンバー管理システム「ATOMS」を導入し、メンバーの利用状況の把握に活用した。また、テニス振り替えシステム「サービスエース」を導入して、メンバーの利便性と新規メンバー獲得に役立てた。

前年度に引き続き、一人ひとりの大切な命を水の事故から守る「ウォーターセーフティーキャンペーン」を実施、その大切さをメンバーに伝える活動を行い、世代を問わない、センターの特性を活かした事業展開を行った。

### 特筆すべきプログラム

- ・前年度に引き続き、中央区の小学校の夏季臨海学校運営を受託し、16校、約900名の指導を行った。
- ・インターナショナル・チャリティーランの参加を館内にて募り、ワイズメンズクラブの協力もいただき、3チーム参加した。
- ・5月から毎月第二木曜日、シニアを対象とした、「＼わい歌の広場」を開始した。童謡や唱歌を歌い、楽しいひと時を新しい仲間と過ごしている。
- ・11月に江東センターと合同で「災害ワークショップ」を開催した。阪神淡路大震災の体験談を聞き、そして実験で液状化を学んだ。

### 2010年度のおゆみ

- 4月 27日 江東区クリーンアップに参加
- 5月3～5日 リーダーズキャンプ
- 5月30日～6月1日 北京YMCAアクアティック研修受け入れ
- 6月18～20日 オール東京夏季リーダートレーニング
- 6月25～27日 オール東京夏季リーダートレーニング
- 6月28日 スタッフ救急救命講習
- 7月8～14日 水上安全キャンペーン
- 7月～8月 夏季プログラム（短期教室・キャンプ）



- 9月23日 インターナショナル・チャリティーランに3チーム参加
  - 12月5日 軽度発達障がい児クラス講演会
  - 12月16～19日 オール東京冬季リーダー実技トレーニング
  - 12月23日 クリスマスオープンハウス
  - 12月～1月 冬季プログラム（短期教室・キャンプ）
  - 2月11日 東日本YMCA少年少女水泳交歓会
  - 2月26日 陽春の集い
- \* 会員対象のデイキャンプ：年二回  
\* 〳わい歌の広場：毎月第二木曜日  
\* ファミリーデー(親子フリースイミング)：毎週日曜日

## 東陽町コミュニティセンター・認証保育所

---

### 総括

0～2歳児、定員数30名の東京都公認の認証保育所では、今年で開所9年目を迎える待機児対策としての保育数の弾力化を行い、収入支出ともに予算を達成することが出来た。今年度より「新保育所保育指針」が導入され、園独自の保育課程を作成した。食育として野菜の栽培や給食の下ごしらえなどを新たにプログラムとして取り入れ、年齢に応じた豊かな経験を実践することが出来た。

園の運営を園と保護者と第三者で考える運営委員会では、これまでの全員参加型から代表制を採用し、園の課題について継続性を持って対処していくようにした。その結果、さまざまなアイデアが保護者から寄せられ、「ふれあいDAY」(親子で楽しむミニ運動会)では、オリジナルTシャツを自分たちでデザインしたいという希望が実現した。

3月11日の東日本大震災では、日頃の訓練の成果で特に慌てることもなく避難誘導などができ、また保育も給食も休むことなく行うことができた。「成長を祝う会」は1週間延期して行ったが、一年の締めくくりとして保護者と共に子どもたちの成長を確認し喜びを分かち合うことが出来た。

### 特筆すべきプログラム

・子育て支援プログラム「ほっとするコーヒー屋さん」(お迎え時の保護者同士のふれあいの場)を月に1回行った。参加費として1回100円をお預かりし、緊急災害支援募金や国際協力募金として用いさせていただいた。卒園児の参加も多くあり、多忙を極めている保護者の交流の場として定着してきた。

・家族で参加する「ふれあいDAY」を、木場公園で行った。今年はこのためにオリジナルのTシャツを作成した。デザインは保護者から公募し、投票によって決めた。  
・11月の「教育シンポジウム」では、0歳児から2歳児の託児を請け負った。

### 2010年度のあゆみ

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 4月 1日     | 保育開始(導入保育開始)     |
| 4月 3日     | 入園・始園式           |
| 5月 8日     | 保護者会             |
| 5月15日     | 東京YMCA 児童保育全体職員会 |
| 6月18日     | 東京都立入り監査         |
| 6月22日     | 江東区立東陽中学校職業紹介    |
| 7月30日     | 第1回運営委員会         |
| 9月 3日     | 引き取り訓練           |
| 10月 2日    | ふれあいDAY          |
| 10月12～29日 | 個人面談             |
| 10月30日    | 入園説明会            |
| 11月 6日    | 教育シンポジウム         |
| 11月13日    | 東京YMCA 児童保育全体職員会 |
| 11月17日    | 収穫感謝祭            |
| 11月27日    | 入園説明会            |
| 12月 4日    | 入園説明会・職員勉強会      |
| 12月15日    | クリスマス礼拝・祝会       |
| 12月23日    | クリスマスオープンハウス     |
| 1月 27日    | 運営委員会            |
| 3月 26日    | 成長を祝う会           |

\*「ほっとするコーヒー屋さん」

- 6月11日、7月9日、9月10日、  
10月8日、11月12日、12月10日、  
1月14日、2月18日、3月11日

## 南コミュニティセンター・東京町田YMCA

### 総括

#### 【南コミュニティセンター】

“Strong kids, strong families, strong communities”を骨組みに、2歳児からシニアまで、様々な方々へプログラムを提供した。家族を対象とした夏の「ファミリーキャンプ」も定着し、次のステップのプログラミングが期待される。また多くのプログラムはリーダーや会員と共に展開をした。

#### 【東京町田YMCA】

オフィスを持たない拠点ではあるが、全てのプログラムは地域に密着しており、今年度も会員主体で展開した。新しい人材の発掘と新しいプログラム開発に力を注いでいる。その中でも菜園活動は今後の期待できるプログラムである。また町田YMCAは、第59回東京都社会福祉大会において、多年にわたって社会福祉活動を行ったボランティア団体として、東京都知事感謝状が贈呈された。



### 特筆すべきプログラム

・南コミュニティセンター、都民教会(下北沢)、東京町田YMCA(シャロームの家)のそれぞれにおいて行われている歌声ひろばの合同バスハイクを、高尾の森わくわくビレッジにおいて開催した。

### 2010年度のあゆみ

- 5月3～5日 リーダーズキャンプ
- 5月11日 歌声ひろば(経堂・下北沢・町田)  
合同バスハイク
- 7月7日 『みんなのうたごえサロン』  
(世田谷区社会福祉協議会)
- 7月24日～8月19日  
夏季シーズンプログラム
- 10月15日 『みんなのうたごえサロン』  
(世田谷区社会福祉協議会)
- 10月24日 バザー
- 10月29日 ハロウィンパーティー
- 11月23日 サツマイモ収穫・賞味会(町田)
- 11月14日 町田歌声ひろば四周年記念  
チャリティコンサート
- 12月11日 世田谷・目黒子どもクリスマス
- 12月11日 町田YMCA市民クリスマス会
- 12月21日 東京都社会福祉大会にて表彰
- 12月26日～30日 冬季スキーキャンプ
- 3月21日 東日本大震災街頭募金(町田駅)

- \* ユーモアスピーチ世田谷(南/第2木曜日)  
日常の出来事をユーモア交えて語り合う  
“笑って楽しい3分間”
- \* YMCAすずらん会(南/第4金曜日)  
童謡や唱歌を歌う、地域交流を目指す会
- \* ベテランティア(町田/第2月曜日)  
人生のベテランの方々を中心としたボ  
ランティアサークル
- \* 歌声ひろば(町田/第2土曜日)  
童謡や唱歌を歌う、地域交流を目指す会
- \* わくわく科学実験教室(町田/第3土曜日)  
身近で楽しい科学実験を子どもたちに提供

## 西東京コミュニティーセンター

### 総括

知的障がい児・者、発達障がい児支援プログラムは、引き続き高いニーズがあり、キャンセル待ちを解除することが難しい。健常児の幼児活動・小学生活動は好調であった。シーズンキャンプは夏が不振で、冬・春は上向きであったが震災により春は全て中止した。

地域諸団体との協働プログラムでは、武蔵野地域の超教派プログラム「0422クリスマス」が400人を越える盛況であった。また国立市の社会教育委員の会への協力も引き続き行った。

会員活動では、ファミリークリスマスが130名程の参加者を集めた。日本キリスト教団吉祥寺教会で実施したところ、初めて教会に入ったと言う声も聴かれた。ファミリーフェスティバルは台風により中止となった。音訳ボランティアはサークルとして定着し、クリスマスで朗読を行うことが恒例となった。



・音訳ボランティアはサークル化し、会員活動としてスタートした。構成員はYMCAの会員となるルールのため、新たに9名の会員が誕生した。ファミリークリスマスでの朗読を行い、八王子盲学校への児童書の音訳奉仕を行っている。

・毎年行っている、独自のリーダートレーニング（座学）が充実した。

・3月に東日本大震災が起きたが、西東京コミュニティーセンターに集う人々是对応が早く、春のキャンプが中止になったボランティアリーダーは、つくば市の避難所や石巻ワークキャンプで奉仕を行った。また、街頭募金への取り組みもいち早く行い、1ヶ月で約80万円の募金を集めた。

### 2010年度のあゆみ

- 4月3～4日 さくらフェスティバル
- 4月16日、5月20日、6月11日  
ボランティアリーダー説明会
- 5月3日～5日 リーダーズキャンプ
- 6月10日 バリアフリーマップ実地踏査
- 6月25～27日 実技リーダートレーニング
- 7月～8月 サマープログラム
- 9月26日 ボランティアリーダー説明会
- 9月～11月 国際協力街頭募金月間
- 12月4日 西東京センタークリスマス
- 12月11日 0422クリスマス
- 12月17～20日  
スキーリーダートレーニング
- 12月26～30日  
ウインタープログラム
- 1月29～30日 障がい児・者スキーリーダー  
トレーニング
- 3月26～30日 スプリングプログラム2

## チャイルドケアセンター

### 総 括

2010年度は0才児6名、1才児8名、2才児6名、合計20名の定員一杯でスタートし、年度途中では2才児2名の退園、転園があったが、1才児が2名新たに加わった。半数以上の13名が新入園児であり、スタッフ体制も変わり、試行錯誤の年であった。また、3月には東日本大震災があり、余震や放射能の恐れのある中の保育となったが、保護者のご理解とご協力、スタッフ全員の連携により無事に年度を終了することができた。

7月には南自由が丘商店会のイベントにブースを出して参加。12月には保護者の協力によって第3回目の「YMCA親と子のハーモニーコンサート」を開催するなど、今年度も卒園した子どもたちが参加できる機会を持つことができた。地域の中での働きが定着してきたことを感じる1年でもあった。

### 特筆すべきプログラム

12月11日に第3回「YMCA親と子のハーモニーコンサート」を実施した。7月から在園児保護者で実行委員会を組織し、企画、チケット販売、広報、当日の運営などを担っていただいた。また、卒園児保護者にも出演依頼、当日の舞台照明をしていただくなど、多大な協力をいただいた。引き続き玉川聖学院には会場提供を、地域商店街からはポスターの掲示や協賛広告を、東京白金高輪ワイズメンズクラブの皆さまには当日の警備を、また今年からは東京YMCA社会体育・保育専門学校の保育科の学生にお客さんの誘導をと、それぞれにご協力をいただいた。卒園児・在園児とその家族、近隣の親子づれなど、500名を超える来場者となった。収益金はチャイルドケアセンターの備品購入と次回のコンサート実施のために用いさせていただいた。

### 2010年度のおゆみ

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 4月 3日       | 入園・始業礼拝            |
| 4月 6日       | 新入園児保護者会           |
| 5月 7日       | 保護者会 0・2歳児         |
| 5月14日       | 保護者会 1歳児           |
| 6月21日～7月2日  | 保護者の保育参加           |
| 7月24日       | フェスタ・デ・すいか割り       |
| 8月21日       | クリーンデイ             |
| 9月27日～10月8日 | 個人面談期間             |
| 10月 9日      | プレイデイ              |
| 10月15日      | 保護者会 0・2歳児         |
| 10月19日      | 園外保育 2歳児           |
| 10月22日      | 保護者会 1歳児           |
| 11月15日～19日  | 保護者の保育参加           |
| 11月16日      | 収穫感謝礼拝             |
| 12月11日      | 親と子の<br>ハーモニーコンサート |
| 12月18日      | クリスマス礼拝            |
| 2月 4日       | 保護者会(全クラス合同)       |
| 2月18日       | 園外保育 2歳児           |
| 3月26日       | 成長を祝う会             |



## 国際ホテル専門学校

### 総 括

1935年に創立した東京YMCA国際ホテル専門学校も75年の歳月を歩み、2011年3月の卒業生を含めて11,184名の卒業生を輩出することになった。2010年度はホテル科1年114名、ホテル科2年68名、ホテル専攻科13名、ホテル実務科8名、合計203名の在校生でスタートした。

昨年度につづき、企業の業績不振にともない新卒者の採用枠が非常に狭くなり、就職希望者のうち25%の学生が1月末まで内定が取れない状況であったが、年度末には内定率が90%を超えた。しかし、引き続き卒業後のケアも必要となる。また、2011年度に向けての学生募集もホテル科の募集が厳しい状況であった。

国際協力募金・チャリティーラン・ワイズメンズクラブ国際大会などのプログラムにも学生が多く関わることができた年となり、YMCAらしいホテル学校の活動ができた。特に山手センターのコミュニティー活動に学生がリーダーとして参加する機会も増え、他の専門学校では得ることができない豊かな経験を積み重ねた一年となった。

### 特筆すべきプログラム

- ・9月4日の国際協力街頭募金では、約200名の学生が参加した。
- ・9月23日のインターナショナル・チャリティーランに、学生1チームが初めてエントリーした。
- ・10月18日の山手会館バザーでは、ホテル学校スタッフがカフェを出店した。
- ・12月7日からヨーロッパホテル観光研修を実施し、58名が参加した。

### 2010年度のおゆみ

- 4月 2日 入学式
- 4月5～7日 新入生オリエンテーション合宿
- 4月12日 1学期開始
- 5月 7日 球技大会
- 7月15日～ リゾートホテル実習
- 7月15日～ 北米語学・ホテル研修



- 8月29日～9月3日 野尻湖スポーツ合宿
- 9月 4日 国際協力街頭募金
- 9月 6日 2学期開始
- 9月13日～11月19日 前期ホテル実習
- 9月23日 インターナショナル・チャリティーラン
- 10月17日 山手会館バザー
- 11月22日 前期実習報告会
- 12月6日～2月18日 後期ホテル実習
- 12月7～20日 ヨーロッパホテル観光研修
- 1月 7日 3学期開始
- 2月22日 後期実習報告会
- 2月23～25日 就職セミナー
- 3月11日 卒業審議会
- 3月18日 卒業式
- 3月30日 卒業延期者卒業式

## 社会体育・保育専門学校

---

### 総括

2010年度は31期生を迎え、社会体育専門課程243名、保育専門課程71名、合計314名の学生でスタートする年となった。社会体育専門課程は実習先に同じYMCAのスポーツ施設を持ち、保育専門課程は保育園・幼稚園を持つ。現場主義・実学の専門学校として、関連する部門との連携をより深めていった一年であった。

学生は、健康運動実践指導者、アスレティックトレーナー、水泳教師、保育士、幼稚園教諭等の資格を取得し、若者の就職が厳しさを増す中、好調な就職実績を挙げることができた。

### 特筆すべきプログラム

・4月5日に行われた入学式において、創立30周年記念講演を催した。日本水泳連盟会長佐野和夫氏から「YMCA 体育館と私そして新入生の皆さんへの期待」という題で新入生とその保護者、教職員に向けて力強いメッセージをいただいた。

・社会体育専門課程の学生は、谷川真理駅伝、チャリティーラン、全国障害者スポーツ大会等の運営ボランティアスタッフとして活躍した。

・保育専門課程の学生は、ニコニコにっこり会（校舎を開放しての子育て支援イベント）ひまわり城（地域の乳幼児とその母親たちを対象にした子育て支援活動）の企画・運営で日頃の勉強の成果を発揮した。

### 2010年度のあゆみ

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 4月 2日     | 始業式                   |
| 4月 4日     | 入学式                   |
| 4月7～9日    | 新入生宿泊研修<br>(山中湖センター)  |
| 4月12日     | 前期授業開始                |
| 4月30日     | 交流会(ドッジボール大会)         |
| 5月23日     | 谷川真理駅伝                |
| 7月10～14日  | 野尻キャンプ実習              |
| 7月15～19日  | 野尻キャンプ実習              |
| 8月28～31日  | 保育科キャンプ実習             |
| 9月13日     | 後期授業開始                |
| 9月23日     | インターナショナル・チャリ<br>ィーラン |
| 10月22～25日 | 全国障害者スポーツ大会           |
| 11月6日     | 体育祭                   |
| 12月4日     | ニコニコにっこり会             |
| 2月14～15日  | 卒業研究発表会               |
| 3月 3日     | 終業式                   |
| 3月 8日     | 卒業式                   |



## インターナショナルスクール・T Y I S

---

### 総 括

Tokyo YMCA International School は 2010 年度、K (幼稚園年長) ~ G6 (小学校 6 年生) までの 7 クラスで運営を行った。前年度に WASC (米国西部地域学校大学協議会) の認証を受けたことで、2010 年度は国際学校としての体制・カリキュラムの充実に弾みがついた。また、東京都内・近郊の他のインターナショナルスクールへの訪問や、近隣の英語プリスクールへの訪問を積極的に行い、他校との関係作りに力を注いだ。2011 年 3 月の東日本大震災の影響で、一時は半数以上の生徒が母国や国外への退去となり、1 週間の休校を余儀なくされたが、その後はほぼ全員が東京に戻り、授業は通常の状態に戻っている。

### 特筆すべきプログラム

・都内の私立中学・高校の「化学」教師によるボランティア授業を 2010 年 12 月 2 日と 2011 年 1 月 13 日に実施した。理科室などの環境が整わない本学の生徒にとって、「化学」に関する高度な知識を楽しみながら習得する機会となった。

・2010 年秋のパキスタンでの洪水に対応し、10 月 7 日・5 日に生徒による街頭募金を東陽町駅前で行った。また、2011 年 3 月の東日本大震災に際しては、3 月 30 日に三菱商事株式会社の社員と一緒に丸の内にて街頭募金を実施した。

### 2010 年度のおゆみ

|                   |                |
|-------------------|----------------|
| 4 月 2 8 日         | スプリングコンサート     |
| 5 月 1 8 日         | エール大学生によるコンサート |
| 5 月 2 3 日         | スポーツデイ         |
| 5 月 2 8 日         | 江東ホームにて歌と踊りを披露 |
| 6 月 2 日           | 犬山市立東部中学校研修受入れ |
| 6 月 1 8 日         | 卒業式            |
| 1 0 月 1 3 ~ 1 5 日 | 山中湖キャンプ        |
| 1 0 月 2 9 日       | ハロウィンフェスティバル   |
| 1 1 月 1 日         | 津田塾大学生ボランティア   |
| 1 2 月 2 日         | 「化学」実験教室       |
| 1 2 月 1 0 日       | クリスマスコンサート     |
| 1 2 月 1 5 日       | 江東ホームにて 歌と踊り披露 |
| 1 月 1 3 日         | 「化学」実験教室       |



|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 月 1 8 ~ 2 1 日 | 妙高スキーキャンプ     |
| 2 月 7 日         | 校内 スプリングコンテスト |
| 2 月 8 日         | 校内 実験コンテスト    |
| 2 月 1 8 日       | PTA カーニバル     |
| 3 月 3 0 日       | 東日本大震災街頭募金    |

## 東陽町語学教育センター

---

### 総括

2010年度は、英語教育の低年齢化に対応して、KGプリスクール(2歳児)などのプログラムの充実を図った。また、海外とのクリスマスカードの交換や、国際協力募金活動、インターナショナルデーなど、YMCAの国際的な取組みを特色とするプログラムを昨年に引き続き実施した。また、キッズガーデンでは在籍生の多国籍化が進み、インターナショナルスクールを志向する家庭も増加している。卒園後の英語力をインターナショナルスクールレベルとするために、5歳児クラスをネイティブ講師による担任制として、子どもたちがより英語を積極的に用いる環境を整えることとし、英語力の向上において、その効果を上げることができた。

### 特筆すべきプログラム

- ・2歳児対象の幼稚園準備クラス(KGプリスクール)をスタートした。多国籍の参加者が集まり、KG(全日制英語幼稚園)入園へとつなげることが出来た。
- ・2009年度は中止となった夏休みのハワイキャンププログラムを再開した。
- ・ニューヨークYMCA、ウクライナYMCAの子どもたちとのクリスマスカード交換を行った。

### 2010年度のおゆみ

#### <KGプリスクール>

- 4月 7日 入園式・始業式
- 7月 7日 インターナショナルデー
- 9月21～22日 年長組お泊りキャンプ
- 10月29日 ハロウィン
- 12月10日 クリスマスミュージカル
- 1月 20日 餅つき
- 2月 13日 運動会
- 4月 17日 卒園式・進級式

#### <キッズガーデン>

- 4月 7日 クラス開講
- 夏休み 夏季プログラム
- 10月30日 ハロウィンパーティー
- 11月 4日 キッズイングリッシュコンテスト
- 12月初旬 海外とのクリスマスカード交換
- 冬休み 冬季プログラム
- 3月中旬 学期末発表会
- 春休み 春季プログラム



## 野尻キャンプ

---

### 総括

2010年の夏も多くの学生ボランティア、社会人ボランティアやOBの方々に支えられ大きな事故や怪我がなく3,581名のキャンパーが夏をすごすことができた。

野尻キャンプ主催の5つの組織キャンプの展開と、指導者の養成のモデルとなるよう励んできた。特に長期キャンプの必要性と小集団活動の有効性を発揮できるものであった。キャンパーの減少傾向に対し同時期2団体受入等を行うことも試みた。

簡素な生活をとおしての野外教育活動は看護学校や大学などYMCA以外の団体にも受け入れられてきている。

今年も台湾よりICCPJ (International Camp Counselor Program Japan) のユースボランティアリーダー3名を受入れた。

### 特筆すべきプログラム

・指導者の養成として、6月に東京YMCA主催キャンプリーダー、茨城YMCAのリーダー、東京YMCA社会体育・保育専門学校の学生助手の合同のトレーニングを実施した。

・社会体育・保育専門学校や国際ホテル専門学校の研修の場として活用された。YMCAの専門学校ならではの体験である。

・今年もOBの方々の力によりワークキャンプを実施し、階段の補修や樹木の整備をすることができた。学荘クラブ、むかでワイズメンズクラブからのご支援にも感謝するものである。

### 2010年度のおゆみ

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 5月2～5日     | 野尻ワークキャンプ                          |
| 6月18～20日   | 開荘ワークキャンプ                          |
| 6月3～6日     | リーダートレーニング                         |
| 7月2～4日     | OBワークキャンプ                          |
| 7月26日～8月1日 | きつつきキャンプ                           |
| 8月1～7日     | 野尻小学生キャンプ                          |
| 8月7～21日    | 第74回野尻学荘                           |
| 8月21～27日   | ふくろうキャンプ                           |
| 8月21～27日   | CITキャンプ<br>(Counselor in training) |
| 9月22～26日   | 閉荘キャンプ                             |



## 山中湖センター

---

### 総括

通年営業となり3年目を迎えた2010年度は冬期の利用者を獲得することができなかった。各利用団体も参加人数の確保に苦勞をしている中で、3月の東日本大震災の影響もあり、キャンセルが相次いだ。

次年度は販促活動を強めて利用促進を行なうとともに、宿泊施設としての充実を図り、様々な活動の場として利用していただけるようにしていきたい。

その他として施設利用のみならず、周辺保育園にて子育て支援のプログラムなどを行うことができ、地域振興の一旦を担うこともできた。今後も自治体との連携を深めながら活動を展開していきたい。

### 特筆すべきプログラム

夏季は、ICCPJ(International Camp Counselor Program Japan)から台湾の大学生3名を駐在リーダーとして受け入れた。1ヶ月という長期にもかかわらず利用者や他の駐在リーダーとの交流も図りながら、山中湖センターを支えてくれた。また、看護学校の学生も授業等が忙しい中、駐在リーダーとして良き働きをしてくれた。

### 2010年度のあゆみ

- 6月30日～7月2日  
埼玉医科大学附属医療センター看護学校プログラム支援
- 10月22～24日  
桜美林大学インターナショナルキャンププログラム支援
- 7月10～11日  
地域保育園キャンプファイヤー支援
- 6月25～27日 リーダートレーニング
- 7月3～4日 山中リーダートレーニング
- 7月13日～8月17日  
ICCPJ台湾リーダー受入れ
- 7月28日～9月1日  
ボランティアリーダー受入れ
- 7月28日～8月1日  
第78回山中家族キャンプ
- 8月1～5日 フレンドシップキャンプ
- 8月5～10日 手足の不自由な子どものキャンプ
- 9月10～12日 リーダーズフォーラム
- 10月9～11日 秋の山中湖キャンプ  
(三菱商事株式会社協働)
- 11月27日 地域子育て支援教室
- 12月4日 地域こどもクリスマス会



## 妙高高原ロッジ

---

### 総括

- ・ 憲政の父と称せられた尾崎行雄の5万坪を超える別荘地の一部2,574坪が、1978年に東京下落合クリスチャンサービス維持財団より東京YMCAに寄贈され、1995年12月14日に妙高高原ロッジ献堂式が行われたので、2010年がちょうどロッジ開設25周年となった。11月27日(土)に、東京方面からのYMCA関係者と地元の方々総勢46名の参加をもって感謝会が執り行われ、過ぎし日々を感謝し、今後の歩みに期待が寄せられた。



- ・ 妙高ロッジを支え、かつ地域での奉仕を善しとする信越妙高ワイズメンズクラブも、設立5周年を迎え、10月16日(土)妙高ロッジを会場に東日本のワイズメンや地元の方々の総勢90名の参加をもって記念会が行われた。シャンソンコンサートも交えて、大変盛会であった。
- ・ 3月16日、ワイズメンズクラブ東日本区事務局からの発案で、東日本大震災の被災者へ送る救援物資の中継地として妙高高原ロッジ

が指名され、10日間で約400個のダンボール箱が全国のワイズメンズクラブとYMCA、およびその関係者から運び込まれた。信越妙高ワイズメンズクラブメンバーは元より、近所のボランティアの方々と共に、荷物の仕分け作業が行われ、20日から30日までの間に都合4回にわたって、物資を仙台YMCAに設置された救援センターに運んだ。そのうち1回は妙高ロッジのマイクロバス、2回は妙高ロッジのバンが活用された。



- ・ 東日本大震災発生のために、3月末に予約が入っていた3つの団体の全てがキャンセルとなった。
- ・ 夏に冬に、今年もまた多くの幼児、青少年、学生の方々、そして障害がある人々が妙高高原ロッジを訪れ、妙高の自然に触れ、良き学びと豊かな交わりのひと時があったことは、妙高ロッジとしてまことに感謝である。ありがとうございました。

## YMCAキャナルコート保育園

### 総括

2010年度はYMCAキャナルコート保育園としてさらなる安定に向けた年であった。園長、主任をはじめ保育士や保護者の全員でYMCAの理念の実践に向け新たな挑戦の年でもあった。

4月の入園式では、YMCA保育園としての使命を見据え、日本ホーリネス教団木場深川キリスト教会錦織牧師の奨励をもって年度のスタートとした。また、年間を通じた指導計画と、日常の指導計画案をより詳細なものとすべく、見直しと評価を加えるよう努めた。

前期は、保育園での日常生活を大切にし、共に信頼関係を築くことに力が注がれた。後期は、日々の保育により厚みを持ち、行事も運営出来た。また、定期的に職員会を実施して日々の保育を検証し、より良い保育に向け研鑽した。さらに児童福祉推進会議で示されているチャイルドケア要領などを用い、より良い環境づくりに努めた1年でもあった。

3月11日の東日本大震災にあっては、園児および建物等の被害はなかった。しかしながら、保育園での地震や津波の対策について様々な課題が浮き彫りとなり課題を残す結果となった。

### 特筆すべきプログラム

・親子の絆が希薄になりつつあるこの時期に、保護者と子ども、保育士と園児が触れ合うきっかけとなる親子遠足等（辰巳の森公園）にて楽しい時間をもった。

・園児の保護者にプール設営のボランティアをお願いし、園活動の一翼を担っていただいた。終了後懇親会を持ち、忌憚のない意見交換ができた。保護者に園の方向性を理解いただき、新たな運営の方向性を導くための有意義な活動となった。

### 2010年度のあゆみ

|           |          |
|-----------|----------|
| 4月 3日     | 入園式      |
| 6月16日～    | 各クラス懇談会  |
| 7月 2日     | 夏祭り      |
| 7月 3日     | プール設営    |
| 7月 6日     | プール開き    |
| 7月29日     | スイカ割り大会  |
| 7月30日～31日 | ぞう組お泊り保育 |
| 10月2日     | 運動会      |
| 10月15日    | 芋ほり遠足    |
| 10月21日～   | 各クラス懇談会  |
| 11月18日    | 収穫感謝祭    |



|        |            |
|--------|------------|
| 12月16日 | 生活発表会      |
| 12月24日 | クリスマス礼拝・祝会 |
| 2月3日   | 節分         |
| 2月16日～ | 各クラス懇談会    |
| 2月26日  | 新入園児面談     |
| 3月19日  | 卒園式        |

## Y M C A オ リ ー ブ 保 育 園

---

### 総 括

開設 6 年目を向かえ、大きな事故や怪我もなく、3月の東日本大震災においても落ち着いて避難誘導が執れ、子どもたちを安全に守れた。保育士の勤続年数が増え、保育の積み重ねが良い形でできてきた。保護者の信頼も増し園児の移動が減少し、兄弟関係の入園も多くなった。

保育士の資質向上のため、年間4回のケース検討会と3回の行動観察では、臨床心理士に携わってもらっている。

毎月の幼児礼拝では、時々牧師先生に来ていただき礼拝を守っている。今年度は職員のキリスト教の学びの時間を設けていただき、理解を深めた。

保育では、オリーブ保育園の食育や縦割り保育について明文化し、保護者にも知らしめた。また、地域の中学・高校・大学の学生体験ボランティアを受け入れたり、特養老人ホームに出かけたりといろいろな年齢層の人たちとの交流の機会を持ち、コミュニケーションを図っている

### 特筆すべきプログラム

子育て地域支援活動を積極的に行っている。地域親子の保育所体験では「リズムダンス」「手作りおもちゃ」「水遊び」等を実施。サークル支援ではコンサートを中心に保護者もリフレッシュできるものを、子育て講演会では、看護師、栄養士などによる「赤ちゃんマッサージ」、「子どもの食事 Q&A」を、また、園児の歯科検診の際に歯科衛生士さんに地域親子に向けて「仕上げ磨き」のお話を伺うなどいろいろな場面を設け、延べ参加者数は前年に比べ増加した。

### 2 0 1 0 年 度 の あ ゆ み

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 4月 3日     | 入園式・クラス懇談会           |
| 4月 7日     | イースター幼児礼拝            |
| 5月 22日    | プレイディ                |
| 6月 11日    | 花の日礼拝                |
| 6月 18日    | 第1回運営委員会             |
| 7月 16～17日 | 年長児山中湖キャンプ           |
| 7月 23日    | 夕涼み会                 |
| 9月 1日     | 引渡し訓練                |
| 9月 23日    | 運動会                  |
| 9月 30日    | 芋ほり遠足(3・4・5歳)        |
| 10月 19日   | 焼きいも大会               |
| 10月 15日   | 第2回運営委員会             |
| 10月 28日   | ハロウィン                |
| 11月 15日   | 収穫感謝礼拝<br>バイオリンコンサート |
| 11月 25日   | F C 東京サッカー教室         |
| 11月 29日   | アドベント礼拝              |
| 12月 18日   | クリスマス礼拝<br>ページェント    |
| 12月 24日   | クリスマス会               |
| 1月 14日    | おもちつき会               |
| 1月 26日    | ピアノコンサート             |
| 2月 18日    | 第3回運営委員会             |
| 3月 4日     | お別れ遠足(3・4・5歳)        |
| 3月 19日    | 卒園式                  |
| 3月 25日    | お別れ会                 |

## 東雲児童館

### 総括

東雲児童館は江東区の指定管理者として、東京YMCAが2008年4月より運営を行っている。放課後や学校休日の子どもたちの遊び場として、安全安心な環境と、彼らを指導する人材を提供している。地域や学校、近隣児童福祉施設からも高い評価と支援を受け、今年度も順調に歩みを進めることができたことは感謝である。

2010年度は開設30周年にあたり、10月に盛大な「じどうかん秋まつり」を開催した。自治会やワイズメンズクラブにも協力いただき、400人を越える来場者があった。

3月の東日本大地震の影響で閉館時間を1時間繰り上げたが、「子育てひろば事業」や乳幼児クラスを増設したこともあり、利用者は目標の20,000人を超えた。

次年度も「いつでも、誰でも」利用できるたたずまいをつくり、地域になくてはならない児童健全育成の場を提供したい。

### 特筆すべきプログラム

#### 《小中学生対象プログラム》

・デイキャンプ(日帰り野外活動)を実施した。4月は水元公園かわせみの里、6月は船橋市の三番瀬干潟、11月は東京湾をお台場から葛西まで船で渡るツアーを行った。今後も「みぢかな自然のふしぎを発見！」をテーマに野外活動を展開したい。

・7月に児童館としては初めての宿泊キャンプを品川区城南島で行った。東京湾の浜辺で野外炊事やテント泊など貴重な体験をした。

#### 《子育て支援プログラム》

東雲は人口の社会増が著しく、子育て支援プログラムへのニーズは高い。特に親子を対象とした体操などのプログラムが好評で、週3のクラスを設定して開催した。

#### 《その他》

・10月より3ヶ月連続で「屋外遊びを通じたネットワークづくり事業」(児童育成協会主催)として近隣の公園や短大を利用して幼児から小学生対象の外遊びを実施した。

### 2010年度のあゆみ

- 4月 デイキャンプ(水元公園「かわせみの里」)
- 5月 第1回地域連絡会  
「江東こどもまつり」に参加
- 6月 デイキャンプ(三番瀬)
- 7月 乳幼児クラス水遊び  
城南島シーサイドキャンプ(1泊2日)
- 8月 学童クラブの遠足  
「なつまつり」他、夏プログラム
- 10月 第2回地域連絡会  
「外遊び研究事業」  
ハロウィン関連行事
- 11月 30周年記念「あきまつり」  
デイキャンプ「船で行く臨海たんけん」  
「外遊び研究事業」
- 12月 クリスマス関連行事  
「外遊び研究事業」
- 1月 百人一首大会  
「キッズ・ワークショップ  
ぎゃくてん時間」
- 2月 節分関連行事  
「キッズ・ワークショップ  
からだをつかって絵本をつくろう」  
江東区児童館卓球大会出場
- 3月 ひな祭り関連行事

| 年間利用者数   |                  |
|----------|------------------|
| 乳幼児      | 6,238            |
| 小学生      | 11,492 (学童クラブ除く) |
| 中学生      | 1,082            |
| 高校生・保護者等 | 5,864            |
| 合計       | 24,678名          |

## 東雲学童クラブ

---

### 総括

東雲学童クラブ(東雲第一学童クラブ)は、東雲児童館に併設の放課後児童クラブとして東京YMCAが指定管理者として2008年4月より運営を行っている。小学1年～3年生を対象に、遊びと生活支援(身の回りのことができるようになる)、保護者の就労支援を行っている。2010年度は当初から定員88名の児童が在籍したため、東雲公園での外遊びや一日保育での昼寝時間の調整など、子どものストレスを溜めないような工夫をした。

今年度からは東雲地区の3つの学童クラブと連絡会議をもち、交流プログラム、保護者対応等につき協議を行った。今後は、地域開発が進む東雲・有明地域の変動にも対応し、子どもたちの健全な育成、健全な親子関係の構築に取り組んでいきたい。

### 特筆すべきプログラム

・第二、第三学童との交流会やドッジボールなどを通じて、他地区の学童クラブとの交流を行い、親睦を深めた。

・8月の「なつまつり」では、児童館と共同で子どもたちが準備した「縁日」を開催。東雲保育園、同第二保育園の園児を招待した。

・10月にはハロウィンパーティーを実施。民生児童委員さんの協力もあり、「トリック・オア・トリート」も体験。地域交流だけでなく、国際理解を深めるきっかけにもなった。

・10月に、中学校2校から職場体験の実習生を受入れた。

### 2010年度のおゆみ

|     |   |
|-----|---|
| 4月  | 新入生歓迎会<br>第1回保護者会   |
| 5月  | ゲーム大会 / 「江東こどもまつり」  |
| 6月  | 昔遊び   |
| 7月  | 第2回保護者会<br>夏休み一日保育<br>観劇会                                 |
| 8月  | なつまつり<br>遠足(葛西臨海水族館)<br>3学童交流会<br>おばけ屋敷                   |
| 9月  | 引渡し訓練<br>わいわいデー   |
| 10月 | 学童クラブ交流会(潮見)<br>深川五中職場体験受入<br>ハロウィンパーティー<br>あきまつり(児童館と共催) |
| 11月 | 保護者個人面談   |
| 12月 | クリスマス関連行事<br>冬休み一日保育                                      |
| 1月  | 3学童新春のつどい<br>巨大カルタ大会                                      |
| 2月  | チャレンジまつり  |
| 3月  | 次年度保護者説明会<br>春休み一日保育<br>お別れ会                              |

## 東雲第二学童クラブ

---

### 総括

江東区の委託事業として東京 YMCA が 2006 年より運営している放課後児童クラブ事業。第二学童クラブはキャナルコートの高層マンション群中に立地し、在籍児童は下校後直接クラブに登室する。延長保育を含め午後 6 時まで残る児童がほとんどである。施設の性格上活動範囲が限定されている。このため、年 4～5 回の遠足や子ども自身がスーパーへおやつを買いに行くなど、外へ出る機会をつくるよう工夫をしている。職員の安全への配慮は行き届いているため、今年度も事故がなく過ごすことができたことは感謝である。

\* 3 月時点の登録児童数は 38 名

### 特筆すべきプログラム

#### ・遠足

なるべく外に出る機会を多くつくりたいと考え、夏 3 回（うち観劇会 1 回）、冬 1 回、春 1 回の遠足を実施した（春休みは大地震のため中止）。猛暑の夏ではあったが、水分補給や休憩をこまめに取るなどして上野動物園を散策した。

#### ・「がくどうまつり」

保護者や学童 OB を招待し、あるいは彼らがボランティアともなって行う第二学童クラブの一大イベントで、1 ヶ月以上前から子どもたちが準備をする。規模は年々拡大しており、YMCA キャナルコート保育園、ひまわりキッズガーデンの園児、民生・児童委員も来訪しゲームや工作などに興じた。学童を地域に知ってもらおう機会ともなった。

### 2010 年度のあゆみ

|      |   |
|------|---|
| 4 月  | 新入生歓迎会<br>第 1 回保護者会                             |
| 5 月  | 「江東こどもまつり」                                      |
| 6 月  | 保護者個人面談   |
| 7 月  | 第 2 回保護者会<br>夏休み一日保育<br>観劇会                     |
| 8 月  | 遠足（上野動物園）<br>遠足（科学未来館）<br>東雲 3 学童交流会            |
| 9 月  | 引き取り訓練  |
| 10 月 | がくどうまつり（都民の日）<br>深川第五中学校職場体験受入                  |
| 11 月 | お友だち招待日<br>保護者個人面談（希望者）                         |
| 12 月 | デイケア訪問<br>クリスマス関連行事<br>冬休み一日保育<br>遠足（豊洲公園・映画鑑賞） |
| 1 月  | 3 学童新春のつどい<br>巨大カルタ大会                           |
| 2 月  | 節分関連行事  |
| 3 月  | 次年度保護者説明会<br>デイケア訪問<br>春休み一日保育                  |

## 東雲第三学童クラブ

---

### 総括

江東区の委託事業として東京 YMCA が 2007 年より運営している放課後児童クラブ事業。第三学童クラブは特別支援学校を含め現在 5 つの小学校から児童が通っているため、登室時間がまちまちであり、そろって外へ出かける機会が少なくなってしまう。しかし、育成室のほか体を動かす集団遊びに適した集会室もあり、子どもたちはストレスを発散できる環境にある。

親子の人間関係などがもたらす子育て・子育ての問題を地域の他クラブ同様に抱えており、学校や出身保育園、家庭支援センター等と連携をとりながら改善への援助をしている。

\* 3 月時点の登録児童数は 34 名

### 特筆すべきプログラム

・しゅくだい道場

「まず宿題を終わらせるべし」を合言葉に、学習の習慣を身につけることを目的に行っている。宿題を終えなければ遊びもできないため、目標が具体的であり明確である。「自分のことを近くで見えてくれる大人」がいることで、子どもが安定するという効果もある。

・納涼会

学童クラブ在籍児童の家族のほか、卒室生、民生・児童委員や職場体験をした中学生を招待し、館内で手作りの縁日を開催した。初めての試みだったが 100 名を越す来場者があり大いににぎわった。学童クラブを地域に公開する意味でも成果があった。

### 2010年度のあゆみ

- 4月 新入生歓迎会  
第1回保護者会
- 5月 「江東こどもまつり」
- 7月 第2回保護者会  
夏休み一日保育  
観劇会
- 8月 遠足(木場公園虹の広場)  
東雲3学童交流会  
納涼会
- 9月 引き取り訓練  
紙ずもう大会
- 10月 ハロウィン  
・YMCA オリーブ保育園交流会
- 11月 保護者個人面談
- 12月 クリスマス関連行事  
冬休み一日保育
- 1月 3学童新春のつどい  
巨大カルタ大会
- 2月 オリーブ保育園交流会
- 3月 次年度保護者説明会  
春休み一日保育

## 東雲ファミリーセンター

---

### 総括

東雲キャナルコートエリア内で、保育・幼稚園児から中学生までを対象とした Kid's English を展開している。各クラスにおいてネイティブの教師と日本人教師によるダブルティーチング方式をとり、きめ細かな授業が定評となり安定的な運営がなされている。

また、2歳児から3歳児までを対象とした Pre-school を展開しており、Kid's English 同様にダブルティーチング方式をとり、丁寧に生きた英語を伝え、遊びの中からの楽しさを知り、自然な発音や聞き取り能力の取得を目指し、楽しい授業が行われている。

一昨年度までは liby と共に実施していた夏季キャンプなどは、残念ながらスタッフの交代等もあり実施することが出来なかったが、東陽町ウエルネスセンターのプログラムには協力することができた。なお、夏季には、YM サービス株式会社が委託運営する高尾の森わくわくビレッジへスタッフを派遣しキャンプ協力を行った。

地域に根ざした活動として、隣接する YMCA キャナルコート保育園と連携し子育て支援活動「ひまわり城」を開催し、多くの参加者を得た。母親同士の情報交換や子育ての悩み解消など交流の場となり、地域に根ざしたコミュニティーセンターとしての役割と機能が定着しつつある。

### 特筆すべきプログラム

・幼児・小学生英語教育事業では、少人数制と、ネイティブと日本人スタッフによるダブルティーチング方式をとり、きめ細かな運営を図った。

・キッズ英語（小学生）のクリスマス会等では、スピーチコンテストを実施。日頃の成果を実践する機会を持ち、良い評価を得た。

### 2010年度のあゆみ

- \* 英語サマープログラム
- \* 英語クラスハロウィンウィーク
- \* キッズ英語クリスマス（小学生）
- \* キッズ英語クリスマス（幼児）
  
- \* キッズ英語（月曜日～金曜日）
- \* 子育て支援活動「ひまわり城」（月2回木曜日）
- \* 英語検定試験実施

## 港区立芝浦アイランドこども園

---

### 総 括

港区の指定管理者として、こども園（幼保一体化施設）の4年目を歩んだ。今年度も、待機児童受入のため“定員の弾力化”を実施し、192名（0歳～3歳児93名、4歳～5歳児99名）の子どもたちを迎え、58名の職員にて、保育・教育を担った。

特別保育（長時間保育・一時保育・休日保育）を実施しており、年末年始の4日間以外は開園をし、保護者のニーズに応える保育を実施している。

また、子育て支援事業も積極的に取り組んだ。月に1回～2回の園庭開放・園内行事・誕生会の参加、港区主催の子育て支援プログラム“みなとっこ（かかりつけ保育園・登録者275名）”、“子育てあんしんプロジェクト”（保健師・助産師・栄養士による相談事業）も港区と協働して実施した。

さらには、港区港南地区事業の一環として、観劇会（荒馬座講演）、体力向上プログラム（東陽町ウエルネスセンター職員指導）も実施した。

### 特筆すべきプログラム

- ・一時保育の利用者数 2,906名
- ・10月9日、“みなと区民まつり”に、港区公立保育園15園と共に参加。
- ・1月30日、“子育て応援講座”（東京慈恵医科大学教授 衛藤義勝氏）を実施。在園児保護者および在宅育児親子を対象とし、65名の参加があった。テーマは「子育てに役立つアドバイス～健康な心と体の子どもを育てるには～」で、共に学び合う機会となった。

### 2010年度のあゆみ

|          |                |
|----------|----------------|
| 4月 1日    | 保育開始           |
| 4月 3日    | 入園式            |
| 4月 8日    | 幼児教育開始         |
| 4月19～22日 | クラス懇談会         |
| 5月 20日   | 観劇会            |
| 6月 4日    | 遠足（4・5歳）       |
| 6月7～11日  | 保護者の保育参加（4・5歳） |
| 7月2～3日   | 山中湖キャンプ（5歳）    |
| 7月 7日    | たなばた           |
| 7月 17日   | 夕涼み会           |
| 9月 3日    | 引渡し訓練          |
| 9月 18日   | 運動会            |
| 11月 5日   | 芋ほり遠足（4・5歳）    |
| 11月17日   | 収穫感謝祭          |
| 12月11日   | クリスマス会（0～3歳）   |
| 12月18日   | クリスマス発表会（4・5歳） |
| 1月18日    | おもちつき会         |
| 2月 3日    | 豆まき            |
| 2月21～24日 | クラス懇談会         |
| 3月 3日    | ひなまつり          |
| 3月 4日    | お別れ遠足（5歳）      |
| 3月15日    | お別れ会           |
| 3月19日    | 卒園式            |

## 港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ（愛称：あいぷら）

### 総括

乳幼児から高齢者までが利用できる複合施設（児童館及び高齢者向け福祉会館）として4年目の運営は、前年度と同様にイベント型交流からより身近な「交流」を打ち出した。敬老の日に因んだプログラムも1日のイベントではなく、交流月間としてさまざまな試みを実施した。年間利用者数は、100,797人に回復し過去最高となった。内訳は小学生(学童クラブを含む)が40,000人、乳幼児19,100人、保護者・見学者24,600人、高齢者13,000人、中高生4,000人。年間361日の開館で、1日平均279人、1ヶ月平均8,340人の利用であった。

また、今年も近隣の町会・自治会や小学校・幼稚園、民生・児童委員等との連携・協力を活発に行い、おまつり・行事等への相互協力や各種会議・会合等への参加を積極的に行った。震災の際には第2次避難所として、第1次避難所である港区スポーツセンターから乳幼児を抱えた親子連れの受入れを行った。余震に脅える近隣の高層マンションの家族の受入れも行った。

### 特筆すべきプログラム

- ・乳幼児：子育て相談が増加し、専門職員がきめ細かく対応した。
- ・児童(小学生～中高生)：行事やイベントに加えて、あそびの環境の整備を行った。
- ・高齢者：区内の他福祉会館と同様の行事やイベントの定着と、館独自の事業として人気が高いウォーキングや歌声広場を定期的に実施。
- ・交流：乳幼児・小学生・中高生・保護者・高齢者の交流行事の定着と、様々な組み合わせの交流を実施。
- ・複合施設の一体的運営：子ども園との連携の強化、行事(夕涼み会・新年交流会・おまつり等)や日常の運営における相互協力の推進。
- ・障がい児：夏期休業日等支援事業を年間通して実施。

### 2010年度のおゆみ

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 5月 9日     | 学童親子ふれあいイベント        |
| 5月16日     | 子どもの日<br>あいぷらプレイパーク |
| 6月 2日     | 高齢者さわやか体育祭参加        |
| 6月12日     | あいぷら交流ドッジボール        |
| 7月 3日     | 学童親子ふれあいイベント        |
| 7月23日     | 学童夏外出               |
| 7月24・25日  | 芝浦3・4丁目まつり参加        |
| 7月～8月     | 高齢者世帯地域訪問事業         |
| 8月 5日     | 高齢者東京湾ナイトクルージング     |
| 8月 6日     | 小学校低学年バスハイク         |
| 8月 6日     | 小学校高学年サマーキャンプ       |
| 8月20～21日  | 学童クラブお泊り会           |
| 9月10日・22日 | 乳幼児バスハイク            |
| 9月18～19日  | 中高生館内宿泊会            |
| 9月23日     | 無声映画上映会             |
| 10月20～21日 | 高齢者ほのぼの作品展          |
| 11月 6日    | あいぷらまつり             |
| 12月15日    | 高齢者演芸会              |
| 12月22日    | 児童年末お楽しみ会           |
| 1月 6日     | 新年交流会               |
| 3月 3日     | 高齢者バスハイク            |
| 3月 9日     | 卒業会                 |

# 現 況

## 会員数

|           |     |
|-----------|-----|
| キ リ ス ト 者 | 317 |
| 一 般       | 527 |
| 合 計       | 844 |

## 参加登録者数

| 部署名                     | 青年成人 |      |      | 少年   |      |      | 合計   |
|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|
|                         | 男    | 女    | 小計   | 男    | 女    | 小計   |      |
| 江東コミュニティーセンター           | 0    | 2    | 2    | 183  | 112  | 295  | 297  |
| 山手コミュニティーセンター           | 2    | 9    | 11   | 117  | 70   | 187  | 198  |
| 山手コミュニティーセンター・ウエルネス     | 4    | 53   | 57   | 294  | 206  | 500  | 557  |
| 山手コミュニティーセンター・STEP      | 0    | 0    | 0    | 17   | 6    | 23   | 23   |
| 山手コミュニティーセンター・語学        | 19   | 43   | 62   | 22   | 46   | 68   | 130  |
| 山手コミュニティーセンター・学舎        | 13   | 0    | 13   | 0    | 0    | 0    | 13   |
| liby                    | 9    | 4    | 13   | 14   | 8    | 22   | 35   |
| 東陽町コミュニティーセンター・ウエルネス    | 502  | 566  | 1068 | 935  | 615  | 1550 | 2618 |
| 東陽町コミュニティーセンター・東陽町認証保育所 | 0    | 0    | 0    | 24   | 12   | 36   | 36   |
| 南コミュニティーセンター(含む語学)      | 0    | 20   | 20   | 55   | 94   | 149  | 169  |
| チャイルドケアセンター             | 0    | 0    | 0    | 13   | 7    | 20   | 20   |
| 西東京コミュニティーセンター          | 82   | 18   | 100  | 120  | 47   | 167  | 267  |
| 東雲ファミリーセンター             | 0    | 0    | 0    | 52   | 61   | 113  | 113  |
| 東雲キャナルコート保育園            | 0    | 0    | 0    | 58   | 57   | 115  | 115  |
| 東雲児童館・東雲学童クラブ           | 0    | 0    | 0    | 30   | 50   | 80   | 80   |
| 東雲第二学童クラブ               | 0    | 0    | 0    | 13   | 25   | 38   | 38   |
| 東雲第三学童クラブ               | 0    | 0    | 0    | 15   | 19   | 34   | 34   |
| YMCAオーリーブ保育園            | 0    | 0    | 0    | 50   | 67   | 117  | 117  |
| 国際ホテル専門学校               | 57   | 146  | 203  | 0    | 0    | 0    | 203  |
| 社会体育・保育専門学校             | 143  | 151  | 294  | 0    | 0    | 0    | 294  |
| TYIS                    | 0    | 0    | 0    | 36   | 39   | 75   | 75   |
| 東陽町語学教育センター             | 0    | 0    | 0    | 117  | 120  | 237  | 237  |
| 芝浦アイランドこども園             | 0    | 0    | 0    | 101  | 91   | 192  | 192  |
| 合 計                     | 831  | 1012 | 1843 | 2266 | 1752 | 4018 | 5861 |

# 現 況

## プログラム在籍者数

| 部署名            | 体育活動 |      | 野外活動 |     | 語学活動 |     | 教養活動 |     | その他 |    | 小計   |      | 合計   |
|----------------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|----|------|------|------|
|                | 成人   | 少年   | 成人   | 少年  | 成人   | 少年  | 成人   | 少年  | 成人  | 少年 | 成人   | 少年   |      |
| 江東コミュニティーセンター  | 0    | 149  | 0    | 63  | 0    | 0   | 2    | 57  | 0   | 26 | 2    | 295  | 297  |
| 山手コミュニティーセンター  | 57   | 500  | 0    | 163 | 62   | 68  | 11   | 24  | 0   | 0  | 130  | 755  | 885  |
| liby           | 0    | 0    | 0    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 23  | 12 | 23   | 12   | 35   |
| 東陽町コミュニティーセンター | 1068 | 1550 | 0    | 116 | 0    | 0   | 0    | 0   | 0   | 0  | 1068 | 1666 | 2734 |
| 南コミュニティーセンター   | 0    | 3    | 0    | 131 | 20   | 12  | 0    | 3   | 0   | 0  | 20   | 149  | 169  |
| 西東京コミュニティーセンター | 17   | 2    | 81   | 122 | 0    | 0   | 2    | 43  | 0   | 0  | 100  | 167  | 267  |
| 東雲ファミリーセンター    | 0    | 0    | 0    | 0   | 0    | 113 | 0    | 0   | 0   | 0  | 0    | 113  | 113  |
| 東陽町語学教育センター    | 0    | 0    | 0    | 0   | 0    | 237 | 0    | 0   | 0   | 0  | 0    | 237  | 237  |
| 小計             | 1142 | 2204 | 81   | 595 | 82   | 430 | 15   | 127 | 23  | 38 | 1343 | 3394 | 4737 |
| 合計             | 3346 |      | 676  |     | 512  |     | 142  |     | 61  |    | 4737 |      |      |

## キャンプ参加者数

| 部署名            | 件数 | メンバー | リーダー | スタッフ |
|----------------|----|------|------|------|
| 江東コミュニティーセンター  | 7  | 236  | 55   | 13   |
| 山手コミュニティーセンター  | 22 | 737  | 193  | 33   |
| 東陽町コミュニティーセンター | 21 | 691  | 210  | 27   |
| 南コミュニティーセンター   | 13 | 331  | 92   | 11   |
| 西東京コミュニティーセンター | 23 | 535  | 305  | 26   |
| liby           | 4  | 79   | 31   | 2    |
| 合計             | 90 | 2609 | 886  | 112  |

## 野外施設利用者数

| 部署名     | 実数   | 延数    |
|---------|------|-------|
| 野尻キャンプ  | 1037 | 3581  |
| 山中湖センター | 4883 | 10592 |
| 妙高高原ロッジ | 1675 | 3827  |
| 合計      | 7595 | 18000 |

日帰り利用者含む

# 現 況

## ボランティアおよび有給指導者（講師）数

| 部署名                     | ボランティア数 | 有給指導者数 |
|-------------------------|---------|--------|
| 江東コミュニティーセンター           | 30      | 0      |
| 山手コミュニティーセンター           | 66      | 6      |
| 山手コミュニティーセンター・ウエルネス     | 30      | 13     |
| 山手コミュニティーセンター・STEP      | 2       | 6      |
| 山手コミュニティーセンター・語学        | 40      | 18     |
| liby                    | 26      | 6      |
| 東陽町コミュニティーセンター・ウエルネス    | 210     | 78     |
| 東陽町コミュニティーセンター・東陽町認証保育所 | 0       | 20     |
| 南コミュニティーセンター(含む語学)      | 66      | 14     |
| チャイルドケアセンター             | 2       | 16     |
| 西東京コミュニティーセンター          | 75      | 13     |
| 東雲ファミリーセンター             | 0       | 4      |
| 東雲チャンネルコート保育園           | 0       | 44     |
| 東雲児童館                   | 1       | 5      |
| 東雲学童クラブ                 | 0       | 7      |
| 東雲第二学童クラブ               | 0       | 4      |
| 東雲第三学童クラブ               | 0       | 5      |
| YMCAオーリーブ保育園            | 0       | 38     |
| 国際ホテル専門学校               | 0       | 49     |
| 社会体育・保育専門学校             | 0       | 59     |
| TYIS                    | 20      | 13     |
| 東陽町語学教育センター             | 22      | 24     |
| 芝浦アイランドこども園             | 0       | 49     |
| 芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ       | 6       | 21     |
| 野外教育センター(野尻・山中・妙高)      | 82      | 9      |
| 合 計                     | 678     | 521    |

## 2010年度補助金・助成金によるプログラム

### A. 助成財団より

|    | 助成団体                            | 助成プログラム                         | 部 門             | 決定額(円)    |
|----|---------------------------------|---------------------------------|-----------------|-----------|
| 1  | 愛恵福祉支援財団                        | “豊かな高齢社会を創るために”<br>第11回懸賞論文     | 会員部             | 530,000   |
| 2  | 財団法人東京都私学財団                     | 私立学校研究助成事業助成金                   | 社会体育・保育専門学校     | 329,000   |
| 3  | 財団法人昭和池田記念財団                    | 昭和池田記念財団助成金                     | 新しいオープンスペースliby | 290,000   |
| 4  | 東京都生命保険協会                       | “広がれ、元気っこ活動”助成                  | 新しいオープンスペースliby | 1,500,000 |
| 5  | YMCA国際賛助会(FCSC)<br>ステート・ストリート   | チャリティーコンサート                     | 新しいオープンスペースliby | 177,044   |
| 6  | YMCA国際賛助会(FCSC)<br>アメリカ商工会議所    | おひさまきらきらキャンプ(LD児対象)             | 山手コミュニティーセンター   | 1,400,000 |
| 7  | YMCA国際賛助会(FCSC)<br>アメリカ商工会議所    | 障がい児・者スキーリーダートレーニング             | 西東京コミュニティーセンター  | 400,000   |
| 8  | YMCA国際賛助会(FCSC)<br>アメリカンクラブ助成部  | シャベルズかめの子・あおぞらつばさキャンプ(障がい児・者対象) | 西東京コミュニティーセンター  | 597,375   |
| 9  | YMCA国際賛助会(FCSC)<br>ジョンソンコントロールズ | ブルースカイプロジェクト(活動支援)              | 西・南・東陽町各センターに   | 231,345   |
| 10 | 明星大学                            | A S C Aクラス(実習費として)              | 西東京コミュニティーセンター  | 150,000   |
|    |                                 |                                 | 2010年度 合計       | 5,604,764 |

## 2010年度補助金・助成金によるプログラム

### B. 行政・企業等

|   | 区分 | 機 関                           | 助成プログラム            | 担当部門            | 2010年度<br>決定額(円) |
|---|----|-------------------------------|--------------------|-----------------|------------------|
| 1 | 行政 | 武蔵野市<br>「情緒障害者(児)日常生活訓練事業」    | あおぞらの会             | 西東京コミュニティーセンター  | 500,000          |
| 2 | 行政 | 東京都福祉保健局<br>健康安全室             | 結核予防費都費補助金         | 国際ホテル専門学校       | 44,718           |
| 3 | 行政 | 東京都福祉保健局<br>健康安全室             | 結核予防費都費補助金         | 社会体育・保育専門学校     | 46,730           |
| 4 | 行政 | 東京都生活文化スポーツ局私学部<br>私学振興課企画振興係 | 私立専修学校教育環境整備費      | 国際ホテル専門学校       | 257,300          |
| 5 | 行政 | 東京都生活文化スポーツ局私学部<br>私学振興課企画振興係 | 私立専修学校教育環境整備費      | 社会体育・保育専門学校     | 168,100          |
| 6 | 行政 | 東京都                           | 保育強化推進事業補助金        | 東陽町認証保育所        | 600,000          |
| 7 | 行政 | 江東区社会福祉協議会                    | 赤い羽根共同募金・地域福祉活動助成金 | 東陽町認証保育所        | 57,000           |
|   |    |                               |                    | <b>行政小計</b>     | <b>1,673,848</b> |
| 1 | 企業 | 三菱商事株式会社                      | 母と子の自然教室           | 江東コミュニティーセンター   | 1,500,000        |
| 2 | 企業 | 三菱商事株式会社                      | 秋の山中湖キャンプ(LD児対象)   | 西東京コミュニティーセンター  | 1,200,000        |
| 3 | 企業 | 本田技研工業株式会社                    | 車両購入のための寄附         | 新しいオープンスペースliby | 600,000          |
|   |    |                               |                    | <b>企業小計</b>     | <b>3,300,000</b> |

# 2010年度補助金・助成金によるプログラム

## C. チャリティー

|   | 区分     | プログラム名          | プログラムの内容  | 担当部門                | 2010年度<br>支援額(円) |
|---|--------|-----------------|---|---------------------|------------------|
| 1 | チャリティー | チャリティーラン        | <p>【障がい児・者キャンプ支援】</p> <p>フレンドシップキャンプ<br/>手足の不自由な子どものキャンプ<br/>ASCAクラス講演会<br/>フィットネスサマーキャンプ・フィットネススキーキャン<br/>プ<br/>フィットネスホノルルマラソン<br/>定例Smile、Smile小学生1泊会・Smile中高生1泊会<br/>LD児ボランティアリーダー勉強会<br/>チャレンジスキー合宿/スノーキッズ・スキーキッズ<br/>知的障がい児・者スキー実技リーダートレーニング<br/>あおぞら・つばさキャンプ・秋春1泊会<br/>シャベルズキャンプ・春秋1泊会/かめの子キャンプ<br/>2010ワールドフラワーキャンプ<br/>知的障がい児・者ボランティアリーダー勉強会<br/>シャボン玉スノーキャンプ<br/>はらっぱ・きらきらサマーキャンプ<br/>はらっぱ・きらきらスキーキャンプ<br/>のびのびサマーキャンプ・スキーキャンプ</p> | 複数部門                | 2,697,331        |
| 2 | チャリティー | チャリティー<br>コンサート | ともや - バングラデシュプロジェクト<br>【高石ともやバングラデシュ奨学基金コンサート】  | 国際部                 | 200,000          |
| 3 | チャリティー | チャリティー<br>コンサート | 明治安田生命保険相互会社共催<br>【愛と平和のチャリティーコンサート2010】  | 国際部                 | 176,274          |
| 4 | チャリティー | チャリティー<br>ゴルフ   | <p>【支援対象】</p> <p>liby(子どものためのフリースペース)・グループキャンプ<br/>東京YMCAフレンドシップファンド<br/>山手コミュニティーセンター・LD児対象キャンプ<br/>バングラデシュ青年交流プログラム<br/>東陽町ウエルネスセンター・フィットネスキャンプ<br/>会員部・会員増強プログラム</p>   | 複数部門                | 305,000          |
| 5 | チャリティー | チャリティー<br>コンサート | libyチャリティーコンサート   | 新しいオープン<br>スペースliby | 372,222          |
| 6 | チャリティー | チャリティーボウ<br>ル   | FCSCチャリティーボウルより   | 西東京コミュニ<br>ティーセンター  | 720,000          |
| 7 | チャリティー | チャリティー<br>コンサート | チャイルドケアセンター 親と子のチャリティーコンサート   | チャイルドケアセ<br>ンター     | 116,555          |
|   |        |                 |   | チャリティー小計            | 4,587,382        |

## 2010年度 企業・団体との協働プログラム

| 部署            | プログラム名                         | 実施期間                | 場 所         | 協働企業・団体                               |                       |
|---------------|--------------------------------|---------------------|-------------|---------------------------------------|-----------------------|
| 会員部           | 第12回懸賞論文 【福祉社会を創る】             | 11/30まで             | 東京YMCA      | 財団法人愛恵福祉支援財団                          | 懸賞論文の募集及び表彰           |
| 国際部           | 愛と平和のチャリティーコンサート 【チャリティーコンサート】 | 5月21日               | 丸の内MYPLAZA  | 明治安田生命保険相互会社                          | 会場で寄せられた募金は国際協力募金へ。   |
| コミュニティーセンター   | 秋の山中湖キャンプ 【LD児対象キャンプ】          | 10/9～11             | 山中湖センター     | 三菱商事株式会社                              | 助成金の他、社員ボランティアも合同参加   |
| 江東コミュニティーセンター | 母と子の自然教室 【母子家庭対象キャンプ】          | 7/24～26<br>7/31～8/2 | 新潟県塩沢・吉里    | 三菱商事株式会社                              | 社員ボランティアも合同参加         |
| 山手コミュニティーセンター | 渋谷区保健所富山サマーキャンプ 【喘息児対象キャンプ】    | 8/6～10              | 千葉県南房総      | 渋谷区                                   | 運営指導、学生ボランティア派遣       |
| 山手コミュニティーセンター | 調布市立小学校夏季臨海学校 【市内小学生対象の臨海学校】   | 7/21～8/4            | 千葉県岩井海岸     | 調布市教育委員会                              | 指導教員の派遣               |
| liby          | liby機関紙等の印刷協力                  |                     | liby        | 富士ゼロックス東京株式会社                         | libyの機関紙などの印刷を無償で請負   |
| liby          | チャリティーコンサート                    | 3月5日                | 日本基督教団早稲田教会 | 協賛：ステート・ストリート / 三菱商事株式会社 / 財団法人早稲田奉仕園 |                       |
| 東陽町ウエルネスセンター  | 中央区立小学校夏期臨海学校 【区内小学校の臨海学校】     | 7/21～8/8            | 千葉県館山       | 中央区                                   | 社会体育・保育専門学校学生他指導教員の派遣 |
| 東陽町ウエルネスセンター  | 練馬区臨海学校 【区内中学校の臨海学校】           | 7/19～8/12           | 千葉県岩井海岸     | 練馬区                                   | 社会体育・保育専門学校学生他指導教員の派遣 |
| 東陽町ウエルネスセンター  | 江東区地域高齢者事業 【介護予防プログラム】         |                     | 江東区社会福祉会館   | 江東区                                   | 健骨・健脳体操指導             |
| 南コミュニティーセンター  | 聖学院小学校水泳教室 【水泳指導】              | 6/8-7/15            | 聖学院小学校      | 聖学院小学校                                | 水泳授業の指導・運営            |

## 役員・委員

---

### 理事会

理事長 茅野徹郎  
副理事長 郡山千里  
理事 尾崎一政（5月1日逝去）  
鈴木健次  
河本晶介  
常務理事 廣田光司  
監事 篠澤忠彦 鈴木功男

### 常議員会

議長 勝田正佳  
副議長 笈川光郎  
常議員 井上史郎 上原靖弘 奥田真弥  
尾崎一政 小原武夫 川口修一郎  
久保田貞視 河本晶介 郡山千里  
佐藤東洋士 篠澤忠彦 鈴木功男  
鈴木健次 茅野徹郎 仲田達男  
船本弘毅 山崎美貴子 山本和  
山本俊正 廣田光司

### 国際委員会

委員長 笈川光郎  
委員 井口保雄 阪上照明 須田哲史  
高橋伸 羽根田実 山本雅子

### 山手学舎運営委員会

委員長 鈴木健次  
委員 笈川光郎 尾内昌吉 大谷博愛  
大野貞次 押切光信 小原武夫  
久保田貞視 蔵知 浩 塩見哲郎

### 会員部運営委員会

委員長 笈川光郎  
委員 伊藤幾夫 越智京子 柿沼敬喜  
神谷幸男 上谷喜謙 小松重雄  
佐藤茂美 佐野守 高嶋美知子  
高橋伸 田中博之 東條めぐみ  
中塚辰生 中村周三 布上征一郎  
長谷川あや子 張替滋夫 前田直孝  
蒔田敏雄

### 広報委員会

委員長 郡山千里  
委員 笈川光郎（編集委員）  
小原武夫（編集委員）  
鈴木健次（編集委員）  
村杉克己（編集委員）

### アドバイザー

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 赤野間征盛 | 荒井 献  | 池澤金次郎 |
| 稲垣守臣  | 岩井 要  | 大島通義  |
| 小澤貞雄  | 小塩 節  | 小原 信  |
| 加藤幹雄  | 金平輝子  | 木村利人  |
| 小崎忠雄  | 佐古純一郎 | 佐波正一  |
| 嶋 雅二  | 鈴木順子  | 住谷一彦  |
| 竹内謙太郎 | 竹内敏晃  | 永田 晨  |
| 奈良 信  | 日野原重明 | 深町正信  |
| 藤井秀也  | 古屋安雄  | 星野 命  |
| 細萱 進  | 松下満雄  | 松本益弘  |
| 武藤陽一  | 村井 純  | 渡部 信  |

### 東京YMCA賛助会

会長 橋本 徹  
（元ドイツ証券取締役会長）  
名誉会長 佐波正一（株東芝特別顧問）  
副会長 福原義春  
（株資生堂名誉会長）

## 東京 YMCA 歴史

- 1844 年 ロンドンにて青年 12 名により Y M C A が誕生
- 1855 年 パリにて世界 Y M C A 同盟が成立 赤十字創始者のアンリ・デュナンもスイス代表として活躍
- 1880 年 青年牧師等有志により日本で最初の Y M C A として誕生（発会式 5 月 8 日）、Y M C A の「Young」の訳語として、「青年」という言葉を示し、広まる
- 1889 年 「青年会演説集」を発刊 北米 Y M C A 海外派遣主事第 1 号、J.T.スウィフトが着任、主事の育成等に尽力
- 1890 年 青年夜学校開校（後の英語専門学校と継続される）
- 1894 年 「神田の青年会館」として親しまれた赤煉瓦の会館を建設
- 1902 年 日本初の国際大会「万国学生基督教青年会大会」を会館にて開催
- 1903 年 財団法人格を取得 初代理事長は三好退蔵（最高裁長官）
- 1909 年 北米 Y M C A で誕生したバスケットボール・バレーボールの紹介・普及に努める
- 1917 年 日本初の室内温水プールを備えた総合体育館が完成、クロール泳法を日本に広める オリンピック選手の練習等に利用される
- 1923 年 全人教育の視点より、少年部プログラムを開始 第 1 回バスケットボール大会開催。第 1 回室内陸上競技会開催 関東大震災救援活動開始  
日本最初の組織キャンプ場として山中キャンプ開設
- 1929 年 第 2 代目神田会館完成
- 1930 年 創立 50 周年祝賀会、日比谷公会堂にて開催
- 1931 年 山中キャンプにて「第 1 回家族キャンプ」を開催
- 1932 年 野尻キャンプにて長期少年キャンプ「第 1 回野尻学荘」が始まる
- 1935 年 国際ホテル専門学校開校
- 1946 年 齊藤惣一元総主事、引揚援護庁長官となる
- 1951 年 江東 Y M C A 保育園（現幼稚園）開園
- 1952 年 山手ランチ（現山手センター）開設
- 1955 年 武蔵野ランチ開設
- 1956 年 世田谷ランチ開設
- 1958 年 第 1 回「手足の不自由な子どものキャンプ」開催
- 1965 年 目黒ランチ開設
- 1966 年 第 1 回「肢体不自由児蔵王雪上教室」を開催

- 1967年 専門学校デザイン研究所開校
- 1970年 東京YMCA賛助会発足
- 1973年 杉並ランチ開設
- 1976年 立川センター開設 野辺山高原センター開設
- 1979年 東京・ニューヨークYMCAパートナーシップ締結
- 1980年 創立100周年記念式典にて谷垣専一文部大臣が祝辞を述べる  
社会体育専門学校開校
- 1985年 妙高高原ロッジ開設
- 1988年 東陽町センター開設
- 1990年 英語専門学校100周年 国際奉仕センター開設 町田センター開設  
東京 - バングラデシュパートナーシップ締結
- 1992年 国際奉仕センタグラントオープン 東京 - 北京YMCAパートナーシップ締結
- 1996年 国際福祉医療専門学校開校 西東京センター開設
- 1998年 チャイルドケアセンター開設 インターナショナルスクール開校  
新しいオープンスペース liby 開設  
東京 - ハワイ島YMCAパートナーシップ締結
- 2000年 東京 - ソウルYMCAパートナーシップ締結
- 2002年 東陽町認証保育所開設
- 2003年 YMCACキヤナルコート保育園開園 東雲第二学童クラブ開設  
国際奉仕センター閉館 本部機能を江東区東陽町に移転
- 2004年 社会体育・保育専門学校25周年 国際ホテル専門学校70周年
- 2005年 創立125周年（記念感謝礼拝 於：霊南坂教会）YMCAオリーブ保育園開園
- 2006年 芝浦アイランドこども園・児童高齢者交流プラザ開設準備
- 2007年 チャイルドケアセンター10周年 liby10周年  
芝浦アイランドこども園・児童高齢者交流プラザ運営開始  
東雲第三学童クラブ開設
- 2008年 東雲児童館・東雲学童クラブ運営開始
- 2009年 社会体育・保育専門学校30周年
- 2010年 創立130周年（『東京YMCA130年の歩み』刊行）  
グランチャ東雲（江東区児童・高齢者総合施設）開設準備

## 東京Y M C A

---

|                        |           |                          |                     |
|------------------------|-----------|--------------------------|---------------------|
| 江東コミュニティーセンター          | 〒135-0014 | 江東区石島 3-15               | 03(3645)7171        |
| 山手コミュニティーセンター          | 〒169-0051 | 新宿区西早稲田 2-18-12          | 03(3202)0321        |
| 南コミュニティーセンター           | 〒156-0051 | 世田谷区宮坂 3-23-2            | 03(3420)5361        |
| 西東京コミュニティーセンター         | 〒186-0002 | 国立市東 1-4-20 EAST1 国立 102 | 042(577)6181        |
| 東京町田Y M C A連絡所         | 〒194-0041 | 町田市玉川学園 7-3-5            | 03(3420)5361(南センター) |
| 新しいオープンスペース liby       | 〒161-0032 | 新宿区中落合 4-21-7            | 03(5988)7832        |
| 東陽町コミュニティーセンター         | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-20             | 03(3615)5565        |
| 東陽町Y M C A保育園          | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-20             | 03(3615)5561        |
| 東陽町語学教育センター            | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-20             | 03(3615)5567        |
| インターナショナルスクール TYIS     | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-20             | 03(3615)5632        |
| チャイルドケアセンター            | 〒158-0083 | 世田谷区奥沢 5-41-7            | 03(3722)4158        |
| 国際ホテル専門学校              | 〒169-0051 | 新宿区西早稲田 2-18-12          | 03(3202)7480        |
| 社会体育・保育専門学校            | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-15             | 03(3615)5577        |
| 野外教育センター               | 〒169-0051 | 新宿区西早稲田 2-18-12          | 03(3202)0323        |
| 山中湖センター                | 〒401-0502 | 山梨県南都留郡山中湖村平野            | 0555(65)7721        |
| 妙高高原ロッジ                | 〒949-2112 | 新潟県妙高市関川 2253-1          | 0255(86)2171        |
| 野尻キャンプ                 | 〒389-1302 | 長野県上水内郡信濃町桐久保            | 026(258)2708        |
| Y M C A キャナルコート保育園     | 〒135-0062 | 江東区東雲 1-9-14-104         | 03(5548)0541        |
| Y M C A オリーブ保育園        | 〒135-0062 | 江東区東雲 1-8-18             | 03(5166)0596        |
| 東雲ファミリーセンター            | 〒135-0062 | 江東区東雲 1-9-14-103         | 03(3615)1769        |
| 東雲児童館・学童クラブ            | 〒135-0062 | 江東区東雲 2-4-4-102          | 03(3529)1795        |
| 東雲第二学童クラブ              | 〒135-0062 | 江東区東雲 1-9-13-101         | 03(3534)2500        |
| 東雲第三学童クラブ              | 〒135-0062 | 江東区東雲 2-7-3              | 03(5530)2236        |
| 芝浦アイランドこども園            | 〒108-0023 | 港区芝浦 4-20-1              | 03(5443)7337        |
| 芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ      | 〒108-0023 | 港区芝浦 4-20-1              | 03(5443)7338        |
| グランチャ東雲(江東区児童・高齢者総合施設) | 〒135-0062 | 江東区東雲 1-9-46             | 03(5548)1992        |
| 国際協力部                  | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-20             | 03(3615)5562        |
| 会員部                    | 〒135-0016 | 江東区東陽 2-2-20             | 03(3615)5568        |

## 財団法人 東京Y M C A

135 - 0016 東京都江東区東陽 2 - 2 - 2 0

TEL 03-3615-5562 FAX 03-3615-5608

<http://tokyo.ymca.or.jp/>

\* 2011 年 4 月 1 日付で、公益財団法人東京 Y M C A となりました。